

# 資 料

以降のページは、ここまでの分析結果を裏付ける資料です。

## 1. 領域ごとの取り組み一覧

## 2. 子ども読書活動アンケートおよび聞き取り調査 単純集計結果

### 子どもの意識

- ①小・中学生の意識……………79
- ②外国人の子どもの意識（とよなか国際交流協会にて）……………82

### 大人（子ども読書活動の担い手）の意識

- ③1歳6か月児および3歳6か月児の保護者の意識（保健センターにて）……………83
- ④地域における市民活動の担い手の意識……………87
- ⑤障害のある子どもの保護者の意識（児童発達支援センターにて）……………89
- ⑥外国人保護者の意識（とよなか国際交流協会にて）……………91
- ⑦学校図書館専任職員（学校図書館司書）の意識……………93
- ⑧市立図書館司書の意識……………96

※①～⑧の各アンケートの設問については、各領域の特性を考慮して作成しましたので、設問に統一性はありません

## 3. 豊中市子ども読書活動推進連絡協議会

# 1. 領域ごとの取り組み一覧

## (1) 家庭・地域における子ども読書活動の推進

### ① 家庭における読書

#### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
1	リーフレットなどによる情報提供	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットなどを産婦人科、小児科医院などに配布することで情報提供を行う。 [152にも掲載しています。]	配布枚数	1300枚	—	—	631枚	赤ちゃん向け絵本の紹介リーフレットについては平成22年度に配布したものを活用してもらっており、25年度は新たに設置しなかった。25年度は「豊中市子ども読書活動推進計画 概要版」を読書振興課が事務局となり読書活動や文化活動、地域活動に取り組む11の市民団体とともに上映した映画『じんじん』の上映会場にて配布すると同時に映画上映前の時間に計画についてのプロモーションビデオを放映して情報提供を行った。	読書振興課・図書館
		リーフレットなどによる情報提供の機会として、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室を活用する。	妊婦教室での情報提供回数	6回	6回	6回	6回	妊婦教室や両親教室で、子どもが絵本とふれあうことの楽しさや大切さ、絵本を通して親子のふれあいの機会をもっとほしいことを伝えている。また、4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診時だけでなく、転入者にも「えほんはじめまして」や「こんにちはえほん」などの赤ちゃん向けの絵本リストや「とよなかこども読書マップ」を配布し、絵本やおはなしを楽しめる身近な場所や地域の人の交流の場所をPRするとともに、啓発活動を実施している。	保健予防課
2	PTA連合協議会での子ども読書に関する情報共有	PTA連合協議会での会議などの場において、子ども読書活動の取組みを報告するなど、情報提供し、広くその活動について周知の機会とする。	配布回数	7回	7回	7回	7回	子ども読書活動推進連絡協議会およびワーキンググループ会議の場で、PTA連合協議会の代表に「豊中市子ども読書活動推進計画 概要版」「とよなかこども読書マップ」を配布した。	小・中学校PTA連合協議会 読書振興課・図書館

#### 子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
3	図書館のPR	おはなし会や絵本講座などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。	実施状況	随時	随時	随時	随時	定例のおはなし会や子育てサロン、サークルなどへの出前講座で図書館が子育てを支援していることや絵本についての相談窓口であることを伝えている。またおもに1歳6か月児健診で配布している「とよなかこども読書マップ」でも身近に絵本やおはなしが楽しめる場として図書館のPRを行っている。	○読書振興課・図書館 おはなしボランティアグループ
4	新一年生へのPR	小学校新一年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [138にも掲載しています。]	配布枚数	41校	41校	41校	41校	図書館のPRや利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法については今後、検討していく必要がある。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
5	家庭への情報提供	図書館のウェブサイトやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 〔106、137にも掲載しています。〕	実施状況	随時	随時	随時	随時	図書館のメールマガジンでは、定期的に新着圖書の情報の発信を行っている。図書館で取り組んで来た多文化共生支援では、新たに購入した多言語の絵本などをウェブサイトでも紹介している。千里図書館では中高生向け情報誌YA! BOOKS通信を発行し紹介した本のリストをウェブサイトでも紹介した。	読書振興課・図書館

## ② 地域における市民活動

### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
6	子育てサロン・サークルでの乳幼児向けおはなし会および絵本講座の開催	校区福祉委員会で実施している子育てサロンおよび子育てサークルで子どもや子どもの読書に関する情報交流なども行う絵本講座や乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出を行う。子育てサロン38校区実施(26年3月現在) 〔99、127をご参照ください。〕	校区／回数／参加人数	24校区／49回／1,910人	26校区／45回／1,669人	32校区／42回／1,420人	34校区／45回／1,775人	社会福祉協議会(社協)では各校区で実施している子育てサロンにおいて図書館職員、おはなしボランティアグループ、子育てサロンスタッフ等によりおはなし会や絵本講座を実施し、校区によっては、講座やおはなし会の時に絵本の貸出を行っている。おもに近隣の図書館のこども室担当者が出向き、絵本についての話や、絵本の読み聞かせなどを行い、地域の中で本と親しむ機会となっている。参加者はもとより、サロンスタッフにも好評で、社協としては乳幼児向け絵本の選び方講座やおはなし会の回数を増やしたい。(社会福祉協議会) 公民館や地域子育て支援センターと連携しての絵本講座を行った。終了後、絵本についての相談の時間を設けて交流の場ともなっている。(図書館)	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 読書振興課・図書館
7	「地域子ども教室」	学校や図書館などで地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作などを通して読書や図書館利用を進める。	回数／参加人数	2,183回／153,834人	2,128回／156,507人	2,258回／154,378人	2,115回／145,594人	市内41小学校区で週1回程度、子どもが地域の大人と交流しながら、学校では経験できない様々なことを学んだ。	地域教育振興室 読書振興課・図書館
8	講演会の開催	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。	回数	1回	1回	1回	1回	蛭池小学校において、読み聞かせの意義や魅力を語り合う第12回「読み聞かせシンポジウム」(毎日新聞社、豊中市教職員組合主催、市PTA連合協議会共催)を実施した。「お話から広がる命の世界」をテーマに、第1部では読み聞かせと、生き物を題材にした作品を発表している絵本作家の近藤薫美子さんの講演を行った。第2部では、読み聞かせを行っている地域子育て支援センター職員、小学校教諭、学校図書館司書らによるパネル討論会が行い、実践の交流を深めることができた。	学校図書館専任職員
<p>・近藤さんの話が大変おもしろかったです。命にかかわる話を楽しく笑いを含めながら、おしつけがましくない口調で語られ、心にジーンとしました。子どもの本を選ぶときには、自分の価値観をおしつけないように多様な本と出会わせたいです。(「読み聞かせシンポジウム」アンケートより)</p>									

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
23年度より追加	子ども文庫の活動	取組みの中で子どもや家庭に向けて、本の貸出や情報提供を行う。	年間のべ利用者数	—	—	1,889名	2,078名	地域の中で長年にわたり「子どもたちに良い本を」と地道な本の貸出や啓発活動を行っている。地域での子どもたちの居場所、子育て支援の場としての役割も担ってきた。小学生など学童期の子どもが忙しくなり、なかなか文庫に足を運ばなくなっている反面、乳幼児の利用が増えてきている。	子ども文庫豊中子ども文庫連絡会(豊子連)読書振興課・図書館
23年度より追加	講演会・講座の開催	市民や子どもに向けた講演会やワークショップの開催。子どものそばにいる大人に絵本の楽しさや大切さを伝えるために作家を招いての講演会や子ども向けの催し、子どもの育ちに関する講座を行う。 [13、129をご参照ください]	講座回数／参加人数	—	5回／118人	3回／57人	4回／196人	25年度は、図書館との共催事業「子どもと本のつどい」で「めざせ！昆虫観察の達人」と題して昆虫館館長久留飛克明さんの講演とワークショップを行い、キャラクターデザインを手がける絵本作家のたかいよしかずさんによる講演とワークショップ「10代の君たちへ…キャラクターデザインの仕事」では、小学校低学年から10代まで幅広い年齢層の子どもたちが参加した。 豊子連講座では、「なぜ、子どもの物語は必要なのか？」と題して、ひこ田中さんに講演していただいた。また「手づくりは知恵を磨く！」では、岡田三朗さんと樋口須賀子さんの講演とワークショップを行った。	○豊子連読書振興課・図書館
<p>・幼稚園の時から現在に至るまでのお話、とても興味深く聞かせていただきました。(どこにでもいる男の子のサクセスストーリーですね)続けていければ、願いがかなう！そのことを子どもたちが感じてくれたらいいなと思います。(子どもと本のつどい「10代の君たちへ…キャラクターデザインの仕事」アンケートより)</p>									

## 子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
9	ボランティアセンター登録者への情報提供	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。	配布枚数	1500枚	1500枚	1500枚	1500枚	ボランティアセンターに子ども読書マップを設置しボランティアへの情報提供を行っている。	○豊中市社会福祉協議会読書振興課・図書館

## 読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
10	絵本等の貸出	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出ができる環境を整える。	校区数	5校区	9校区	32校区	8校区	子育てサロンへ出向いて、乳幼児の保護者に対して絵本の楽しさを伝える取組みを行った。サロンに出向く時も、可能な範囲で図書館から絵本を運び貸出を行った。子ども文庫に赤ちゃん絵本をまとめて貸出した。	○豊中市社会福祉協議会読書振興課・図書館
<p>・手あそびやわらべうたなども、取り入れながらすすめていただいたので、親子で楽しんでいる姿が見られて良かったです。絵本の貸出も、日ごろ図書館までなかなか行かない方にとっても、いい機会になったと思います。(子育てサロン担当者)</p>									

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
11	グループ支援活動	公民館と図書館において活動しているボランティアグループやサークルが、相互に連携した取組みができるよう交流を深める事業を行う。	実施状況	随時	随時	随時	随時	学校で読み聞かせをする保護者向けに図書館で行う研修は、ほかの学校での活動の様子を知る機会にもなっている。(図書館) 人形劇・パネルシアター等の登録グループが地域に出向いて交流を深めている。また千里公民館では公民館登録グループが子ども夏休み講座及びクリスマス関連事業で人形劇・パネルシアターを披露した。(公民館)	公民館 読書振興課・図書館

## 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
12	子ども文庫活動への支援と連携・協力	長年にわたり、地域の中で子どもと本をつなぐ地道な活動を行っている子ども文庫に対して、市立図書館が団体貸出サービス、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などを行い、活動を支援する。また子育て支援事業の中で連携・協力(協働)する機会をつくり、子ども文庫の活動を広く市民に知ってもらえるようPRするとともに、活動場所の確保など、個々の文庫の活動を支援する。	団体貸出冊数	5,105冊	4,986冊	6,517冊	7,088冊	豊子連所属の子ども文庫については、4か月児健診時、ブックスタート事業「えほんはじめまして」での図書館からの配布物の中に「こどもぶんこのしおり」を入れてPRに協力している。その他の子ども文庫のPRチラシなども依頼に応じて図書館内で配布した。 ブックスタート事業のPRの子育て座談会では、パネリストとして文庫の世話人も座談会に参加したことにより、文庫に親しみを感じてもらうことができた。	子ども文庫 豊子連 読書振興課・図書館
13	豊中子ども文庫連絡会への支援と連携・協力	豊中子ども文庫連絡会は社会教育育成団体として補助金の交付を受けるとともに、図書館と共催して「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を行う。豊子連主催行事等では、図書館による後援と協力を行う。 [129をご参照ください。]	団体貸出冊数	5,105冊	4,661冊	4,725冊	6,777冊	豊子連の例会に図書館職員も参加し、情報提供や共有を行い「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」の共催をはじめ、ブックスタート事業「えほんはじめまして」などにも協働で取り組んでいる。 子どもと本のまつりの手づくりあそびのコーナーは、毎年人気で、25年度は、3つの工作を行った。とくに、ゆらゆらとんぼは好評で、七夕で使用した笹の枝の部分を再利用して、切り紙のとんぼやちょうちよなどをその先につけ、動きのできる楽しい作品となった。 多言語のおはなし会では、ロシア語と英語で絵本やおはなしを楽しんだ。 また、「子どもと本のつどい」では「めざせ！昆虫観察の達人」と題して昆虫館館長久留飛克明さんの講演とワークショップを行なった。キャラクターデザインを手がける絵本作家のたかいよしかずさんによる講演とワークショップ「10代の君たちへ…キャラクターデザインの仕事」では、小学校低学年から10代まで幅広い年齢層の子どもたちが参加することとなった。 豊子連講座では、「なぜ、子どもの物語は必要なのか？」と題して、ひこ田中さんに講演していただいた。また「手づくりは知恵を磨く！」では、岡田三朗さんと樋口須賀子さんの講演とワークショップを行った。	読書振興課・図書館 豊子連

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
14	おはなしボランティア活動への支援	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 〔153にも掲載しています。89をご参照ください。〕	講座回数／団体貸出冊数	8回／14,031冊	8回／15,379冊	8回／16,925冊	8回／16,926冊	「子どもと本をつなぐボランティア講座」受講者はここ数年横ばいであるが、平成25年度は会場について全6回のうち、3回を庄内公民館で、あとの3回を岡町図書館で行うことにより、ふだん参加しにくかった南部地域の受講者の増加を図った。おはなしボランティアフォローアップ研修講座パート1は、絵本作家スズキコージさんを招き、「旅と絵本」と題して、講演いただいた。パート2では、元ボランティア養成講座講師柴藤愛子さんに「子どもに本(おはなし)を届けるということ」と題してボランティア活動を続けるにあたって、大切にしてきたことなどをお話していただいた。各図書館では、ボランティアからの相談に応じて、選書についてのアドバイスや、打ち合わせ場所の提供など、日常的に行っている。	読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
<p>・スズキ先生が楽しい方でしたので、話も面白く、絵もステキで歌や切り絵のパフォーマンスも楽しかったです。</p> <p>・室内いっぱい展示された作品の色の豊かさに圧倒されました。入り口近くの細かい絵がプリントされた布、大変すてきでした。布の中からたくさんお話が出てくるようで、ずっと見ていたい気がしました。(「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」パート1、受講者アンケートより)</p>									
15	地域ボランティア活動推進事業	中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(放課後子どもクラブ)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 〔68、88、154にも掲載しています。〕	講座回数／参加人数	3回／23人	3回／31人	3回／23人	3回／17人	夏休みを利用して「高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座」を実施し、最終日には保育所での実践を行った。近年、高校生の受講者の減少が課題であったが、広報の仕方等を工夫することにより、25年度も複数の参加があった。例年、秋季以降に過去の受講生を加え、「絵本の読み聞かせボランティア」として地域子ども教室等でおはなし会を数回実施している。25年度は、受講生が継続的に活動できるよう、講座終了後、早い時期に受講生の交流会を設定するなどの工夫を行った。	地域教育振興室 読書振興課・図書館 おはなしボランティアポケット
<p>・正直、こんなに本格的に絵本の読みかかせのポイントを教えてくださいとは思ってなかったので驚きました。めくり方や、文字と絵のバランスなど細かいところまで学ぶことができ、ためになりました。実践も、保育園の子どもたちがかわいくて、本当に参加してよかったです。(高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座アンケートより)</p>									
16	市民活動への支援	子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。	講座回数／参加人数	49回／1,910人	45回／1,669人	42回／1,420人	45回／1,775人	子育てサロンへ出向いて、乳幼児の保護者に対して絵本の楽しさを伝える取組みを行った。子ども文庫に赤ちゃん絵本をまとめて貸出した。「おかまちおやこでいほんご」の活動をしているスタッフからの絵本の問い合わせに応えたり、外国語資料の寄贈本で図書館では使用しないものを提供するなどの支援をした。	読書振興課・図書館

## 子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
17	「わいわい子育てミーティング」	年に1回子育てサークルの世話人が集まる機会となっている「わいわい子育てミーティング」の際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。	回数／参加人数	1回／23人	1回／42人	1回／42人	1回／25人	手遊び歌遊びの紹介や、図書館職員による絵本の読み聞かせのポイントなどの紹介を行い、実際に読み聞かせも行った。	豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
18	小ネット研修・交流会(子育てサロンボランティアの研修・交流会)	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。	回数／参加人数	1回／23人	1回／42人	1回／42人	1回／25人	項目17の「わいわい子育てミーティング」内で開催。	豊中市社会福祉協議会 読書振興課・図書館
19	青少年指導者に向けての取組み	指導者が集まる機会に、図書館の紹介をすることで、青少年活動での本の活用を広める。	参加人数	—	—	—	—	実施なし	○青少年育成課 読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
23年度より追加	妊婦教室での絵本案内	保健センターで開催される妊婦教室で赤ちゃん絵本についての話、赤ちゃん絵本の紹介、読み聞かせの実演、図書館の子育てサービスの案内を行う。 [126をご参照ください。]		—	6回／74人	6回／43人	6回／43人	保健センターで開催される妊婦教室に庄内図書館から出向き、赤ちゃんから絵本が楽しめることを紹介。図書館の利用案内や絵本の読み聞かせ、リーフレットの配布をした。	保健予防課 読書振興課・図書館



ブックスタート事業「えほんはじめまして」

## (2) 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
20	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」→23年8月よりブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3か所の会場で行う。家庭でもすぐに楽しめるよう絵本を1冊配布するほか、絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等をコットンバッグに入れて配布する。また健診未受診者へ保健師が絵本もしくは引換券と「えほんはじめまして」の資料を配布する等、状況に応じて働きかけを行う。 [123にも掲載しています。]	ブックスタートバック手渡し率	94.4%	94.7%	97.0%	98.8%	図書館職員とボランティアスタッフが、乳幼児と絵本を開くことの楽しさを伝えている。絵本配布開始から2年が経過し、ブックスタート対象者が絵本の引換券を持って図書館に来館するケースも増え、健診未受診者へのフォロー体制も機能しつつある。図書館の乳幼児向けおはなし会の参加にもつながり、図書館が子育て支援の場であることも認知されてきた。25年度は周知事業として「巡回写真展」を6図書館とよなか男女共同参画推進センターすてっぷで開催した。またすてっぷと共催で「子育て座談会『みんな一緒に…絵本のある暮らし』」を開催し好評を得た。スタッフミーティングを3回開催し、スタッフ間の情報共有に努めた。(図書館) 乳幼児と一緒に絵本を楽しむことの大切さを知ってもらい、図書館が子育てをしている保護者の交流や子育て支援の場として機能していることの認知も進んできている。健診未受診者に対しては、保健師による訪問時に絵本を配布したり、事業説明を実施するなど、全対象者への啓発に努めている。(保健予防課)	○読書振興課・図書館保健予防課 豊子連
<p>・健診と組み合わせることは大変良いと思います。若い人たちのためにもっと広げていってください。・赤ちゃんもお母さんも嬉しそうで、よい機会ですね！ぜひ、つづけてください。・赤ちゃんも絵本を楽しんでいることが伝わってきました。まわりの大人の方々の表情も笑顔で、しあわせな気分がみんなを包み込んでいるようです。素敵な写真を展示して下さって、ありがとうございました。(巡回写真展アンケートより)</p>									
21	乳幼児向けおはなし会「ほっとタイム」	「ほっとタイム」ではプレイルームに来館した0歳～就学前の子どもと保護者を対象に、あそびを提供し、気軽に参加してもらい、子ども同士や保護者同士の仲間作りの場で絵本の読み聞かせや年齢にあった絵本の紹介を行う。	回数／参加人数	478回／11,424人	1,149回／25,416人	437回／10,775人	466回／11,576人	地域子育て支援センターが16か所。子育て支援センター1か所。全センターでおはなし会が実施される。回数を重ねるごとに楽しみに参加する保護者も増えてきている。絵本を子どもはもちろん子育てをしている保護者がより楽しいものと感じてきているようだ。年齢に合わせた絵本の特徴や楽しさを伝えていくことで生活の中で自然に絵本などを取り入れる大切さを伝えていきたい。	子育て支援センター
22	親と子の遊びのひろば「パンダグループ」「こぐまグループ」	「パンダグループ」は2・3歳の子どものとその保護者を対象にした8回の連続講座。「こぐまグループ」は1歳6か月から2歳未満の子どもと保護者を対象にした4回連続講座。遊びや情報提供を行っている。これらの取組みの場で絵本の読み聞かせや年齢にあった絵本の紹介を行う。	回数／参加人数	664回／14,456人	688回／14,552人	628回／14,280人	576回／13,128人	「パンダグループ」や「こぐまグループ」ではまず絵本の楽しさを伝えている。パンダやこぐまの活動の中で、保護者同士が、相談しながら工夫し、子どもへ絵本などを披露してくれる機会を持つと、保護者同志の関係性も深まり、また子どもの喜ぶ姿を見て保護者も子育ての自信をつけているようだ。保護者同士のつながるきっかけとして絵本などがよい媒体となっており、とても有効なツールだと実感している。	子育て支援センター

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	実施状況と課題		関係部局・団体
							実績		
23	「出前講座」	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊びの提供の場で読書活動(絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等)を推進する。	回数	631回	592回	689回	562回	居宅の親子が出向きやすいいろいろな場所で読み聞かせができる機会を多く作り、参加する年齢に応じた内容の絵本の読み聞かせなどを実施した。	○子育て支援センター 読書振興課・図書館
24	「センター講座」 「ほっぺ講座」	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。各センターの講座に参加することで職員の研修として活用する。また課題などについてセンター間で情報を共有し、事業点検を行う。	保護者向け講座回数	61回 ／ 1,673人	68回 ／ 1,824人	64回 ／ 1,794人	95回 ／ 2,957人	講座に関しての保護者のニーズは高い。子育ての中に絵本を！親子で楽しもう！年齢にあった絵本は？など…いろいろなテーマに沿った講座のねらいを持ち、読み聞かせや絵本の紹介をしていただいた。保護者の感想としては、「絵本の選び方や読みかきかせの方法など参考になった。」「絵本を読むきっかけになり図書館に行こうかなと思った」。など専門家のアドバイスは、好評であった。(子育て支援センター)	○子育て支援センター 読書振興課・図書館
25	「子育て総合支援事業」	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。全市立幼稚園(7園)実施	回数／参加人数	4回 ／ 83人	4回 ／ 132人	10回 ／ 296人	13回 ／ 353人	絵本の中の絵や言葉がくれるメッセージをゆったりと感じとっていくことで、大人も絵本の世界を楽しんでいく。大人になってから絵本を読んでもらうことなどないので、絵本の世界に浸り、それが子ども達に伝わり子育てへと繋がっていくと思う。この貴重な経験を継続し、多くの方たちに知らせ広めていくことが課題である。	保育幼稚園室
26	フリースペース	就学前の親子を対象に週2回、親子でくつろげる場を提供する。また、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行う。	回数／参加人数	97回 ／ 3,483人	95回 ／ 2,204人	—	—	事業終了(24年度より幼児教育支援センターたんぼぼがてしま幼稚園地域子育て支援センターへ移行のため)	—
27	親子たんぼぼ体験教室	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。(てしま幼稚園としんでん幼稚園で実施)	回数／参加人数	70組 10回 ×7 クール × 2園	300組 7回 ×10 クール × 2園	—	—	事業終了(24年度より幼児教育支援センターたんぼぼがてしま幼稚園地域子育て支援センターへ移行のため)	—
28	図書貸出	幼児教育支援センターたんぼぼに図書スペースを設置し、フリースペースの参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。	貸出人数／貸出冊数	189人 ／ 536冊	116人 ／ 307冊	—	—	事業終了(24年度より幼児教育支援センターたんぼぼがてしま幼稚園地域子育て支援センターへ移行のため)	—
29	情報相談	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。	子育てに関する情報相談件数	3件	8件	12件	4件	情報相談の折に絵本を案内する機会がある。	すてっぷ

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
30	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さんへの家事・育児参加を働きかける講座で絵本を紹介し、利用につなげる。	リスト掲載冊数／配布枚数	30冊／155枚	30冊／155枚	30冊／155枚	54冊／680枚	テーマ展示「男らしさってなんだろう?～オトコの生き方*考」リストを作成・配布。(男性の家事・育児に関する図書や児童書多数含む) 子育て支援課と共催の「お父さんのための子育て講座」で関連図書や絵本を紹介し、リストを配布した。	すてっぷ
31	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う	参加人数	100人	129人	148人	89人	図書館では男性職員によるおはなし会を春のこどもの読書週間に合わせて実施。迫力のある男性の声でのおはなし会では、大型絵本や紙芝居などを楽しんだ。「春休みおはなしワールド」をお父さんも参加しやすい日曜日開催にした。とよなか男女共同参画推進センターすてっぷにおいて「子育て座談会『みんないっしょに・・・絵本のある暮らし』」を土曜日に開催、子育て中のお父さんをゲストに呼び、経験をふまえて絵本の話をしてもらった。大人向けに「はじめよう!紙芝居」を土曜日に開催し、保護者や子どもに関わるボランティアの方などに、紙芝居の楽しさや演技方を伝えた。	読書振興課・図書館
32	子育てグループ活動への支援	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。	蔵書冊数	123冊	123冊	123冊	123冊	図書館のリサイクル本を活用した図書コーナーを中央公民館1階ロビーに設置している。	公民館
33	啓発講座	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	回数／参加人数	—	1回／150人	1回／150人	1回／154人	すてっぷ協賛事業として登録団体「朗読カフェひまわり」が、朗読&絵本とピアノのコラボ「いのちいっぱい絆」を実施。	すてっぷ
34	保護者向け講座の開催	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。〔38にも掲載しています〕	参加人数	14人	30人	2回／50人(中央) 11回／369人(蛸池) 9回／745人(千里) 総計1164人	3回／58人(中央) 14回／333人(蛸池) 10回／831人(千里) 総計1222人	中央公民館では「子育て広場楽しい読み聞かせと手遊び」を図書館司書を講師に開催した。蛸池公民館の「すくすくおはなしタイム」千里公民館の「千里ふれあい広場」でも、図書館司書による読み聞かせを実施した。	公民館
<p>・本にこんなに興味があると思いませんでした。          ・本だけでなく手遊びもあり落ち着きがないなりに参加できてよかったです。          (「子育て広場」参加者アンケートより)</p>									

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
35	おはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	回数／参加人数	24回／910人	24回／480人	24回／480人	24回／360人	すてっぷ登録団体「おはなし会とっこ」が、月に2回(第1、3月曜日)すてっぷロビーのキッズスペースで、親子を対象とした「絵本の読み聞かせと手あそび」を実施。絵本と手あそびを通して、豊かな感性を持った子どもの育成をめざし、親子のふれあいの場とする。引き続き、周知・広報に努め、参加人数を増やすための支援が課題である。	すてっぷ
		子どもたちが生活の一部として利用している児童館の中でおはなし会を開き、本やおはなしに親しむ機会ときっかけを作っていく。	回数／参加人数	10回／89人	12回／97人	3回／41人	3回／27人	25年度も引き続き学期ごとに1回1時間で本の読み聞かせと、その本にちなんだ工作をしたりゲームを取り入れるという取り組みをしていた。特に低学年の子どもたちが興味を示し、協力しながら工作したりゲームも盛り上がった。様子を観て途中参加の子どももいた。高学年の参加が少なかったため、高学年の子どもにも興味を示してもらえるような工夫をしていく必要がある。	豊中人権まちづくりセンター
		子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	回数／参加人数	87回／554人	82回／398人	84回／616人	94回／1,000人	平日と土曜日は文化館で活動する子どもや地域の子どもたちの居場所になっている。日曜日は、北摂子ども文化協会主催のクラブ活動・カルチャー教室の利用者が多い。幼児・小中学生を中心に貸出を行っている。資料購入冊数は年間200冊程度。資料費が限られる中、リサイクル本や寄贈本の活用を努めている。引き続き、本に親しむことのできる環境を整えていきたい。	庄内少年文化館 おはなしボランティアポケット
		放課後子どもクラブの活動の一環として、ボランティアによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	回数／参加人数	335回／14,885人	363回／16,371人	381回／18,312人	405回／19,477人	定期的におはなしボランティアポケットなどによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくっている。	放課後子どもクラブ チーム おはなしボランティアポケット 野畑おはなしの会
36	図書館訪問	放課後子どもクラブの校外活動の一環として、図書館を訪問し、子どもたちが本を読んだり図書館が開催するおはなし会に参加しておはなしに親しむ機会をつくる。	回数／参加人数	—	—	26回／584人	16回／221人	校外活動として図書館を訪問している。近くに図書館がない、一度に多人数の訪問になるなどの課題はあるが、一度訪問すると子どもも喜び、訪問していないクラブにも利用の促進を図りたい。	放課後子どもクラブチーム
37	図書リストの配布や子どもへの学習相談	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校図書館専任職員や教員を通してのレファレンスに応じる。	図書館・掲載延べ冊数・小中学校等への配布枚数	13冊／1,000枚	10冊／1,000枚	10冊／1,000枚	10冊／200枚	夏休みの読書のためのリストを作成し配布した。来館者にも配布し、参考資料になっている。夏休みには学習相談を実施した。	○すてっぷ小・中学校関係施設

## 子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
38	子育て教室	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。	開催回数／参加人数	14人	1回／30人	2回／50人(中央)11回／369人(蛍池)9回／745人(千里)総計1164人	3回／58人(中央)14回／333人(蛍池)10回／831人(千里)総計1222人	項目No.34と同じ	公民館

## 読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
39	絵本コーナーの充実	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。	設置箇所	3か所	3か所	3か所	3か所	各保健センターに設置。集団健診やクリニック・育児相談の待ち時間に、保護者が子どもに読み聞かせをしたり、子ども自身が絵本を選び読んでいる姿が多く見られ、待ち時間を絵本と触れ合うことで楽しく過ごすことができている。(保健予防課) 保健センターの絵本コーナーについて、傷んだ本の修理を図書館で行うなど、保健師と図書館職員が日ごろから協力してコーナーを維持している。傷んだ本の差し替えをリサイクル図書で用意するなど、24年3月から入替、補充を行っているコーナーもある。(図書館)	保健予防課 読書振興課・図書館
40	絵本コーナーの充実	絵本コーナーの充実、貸出等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境をより充実する。	絵本の取り替え回数	随時	随時	随時	随時	絵本コーナーを設置し、絵本に親しめる環境作りを行う。絵本の選定や入れ替えは、計画的に各センターが状況に合わせて行っている。今後も絵本コーナーの充実に努める。	子育て支援センター
41	読書環境の充実	すてっぷの情報ライブラリーの絵本や児童書を充実し、大人も子どもも身近に絵本と親しむことができるようにする。	おはなし会回数／参加人数	24回／910人	24回／480人	24回／480人	24回／360人	利用拡大と貸出促進をねらいとして、えほん・児童書コーナーをリニューアルした。同コーナーにおいては「えほんのひろば」を毎週土曜日に実施。おすすめえほんを展示したり、工作やクイズを実施したりして、えほんの貸出促進につなげている。(えほんのひろば42回・工作18回/61人)  すてっぷ登録団体「おはなし会とっこ」が、月2回(第1、3月曜日)すてっぷロビーのキッズスペースで、親子を対象とした「絵本の読み聞かせと手あそび」を実施。絵本と手あそびを通して、豊かな感性を持った子どもの育成をめざし、親子のふれあいの場とする。引き続き、周知・広報に努め、参加人数を増やすことが課題である。	すてっぷ
42	絵本コーナーの充実	図書館と連携し、公民館のロビーや保育室にある絵本コーナーを充実する。	蔵書冊数	123冊	123冊	123冊	123冊	各公民館保育室に絵本コーナーを設置している。また、中央公民館1階ロビーでは利用者に活用していただくための絵本コーナーを設置している。(実績は中央公民館、絵本コーナーの数値)	公民館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
43	図書室・図書コーナーの充実、本のある居場所づくり、地域の子どもと保護者への取組み	これまで分類上は「図書室・図書コーナーの充実」のみであったが、子育て交流広場での読み聞かせ、絵本を通して子育てを振り返るおはなし会、友達との調べ物、物語から自分を振り返る人権学習など本に関わった取組みが増えているので、これらを前面に出して読書への関心へとつないでいく。	館利用人数	59,933人	41,309人	41,309人	42,334人	25年度は図書室を整備して、子育て交流広場での絵本の読み聞かせや、仲間づくりでの絵本の活用を継続するとともに、図書室を開放し、絵本・読書クラブで活用することで、本のある居場所づくりを進めていった。今後はより子どもの現状に合った本を充実させたり、定期的な入れ替えを行うことで、本に親しむ環境づくりを継続してすすめていきたい。また、図書館と連携し、毎月20冊程度の本を入れ替え、季節や子どもたちのニーズに応じた書架作りを工夫した。	蛭池人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実、本のある居場所づくり、地域の子どもと保護者への取組み	団体貸出の利用と保護者等からの絵本のリサイクルにより、図書コーナーの充実を図る。また、本に囲まれた環境の中で学習室としても活用を増やすなど、子どもが本を身近に感じる環境作りをしていくために壁装飾の取替を学期ごとに行うことを企画していく。	館利用人数	100,590人	65,170人	46,224人	59,378人	「本のへや」で宿題をしていて、漢字がわからないと本棚から辞書を出し調べたり、時計の付いた本で遊びながら時間を学ぶ姿や電車に興味のある子は電車の本で楽しむ姿が見られる。リサイクル本や寄贈本の活用をしているが、年に1～2回入れ替えだった為、今後子どもたちの興味を示すリサイクル本を検討し多く取り入れていく必要がある。	豊中人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により図書室を充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。	児童書所蔵冊数／団体貸出	1,964冊／57冊	2,005冊／74冊	2,031冊／80冊	2,104冊／64冊	大型絵本や展示の工夫により、子どもの目に留まりやすい配架を心掛けている。子どもが手に取った本を大人に見せに行き、一緒に読んで楽しんでいる様子が見られる。今後も継続的に子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備していく。	すてっぷ
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用、また一般市民からの寄贈本やリサイクル本などの活用により図書コーナーの充実を図る。また、子どもが身近に本と親しむことができる環境づくりのために表示板の作成や壁面構成に努めている。	貸出人数／貸出冊数	2,186人／6,284冊	2,167人／6,325冊	1,495人／4,474冊	1,839人／5,894冊	平日と土曜日は文化館で活動する子どもや地域の子どもの居場所になっている。日曜日は、北摂子ども文化協会主催のクラブ活動・カルチャー教室の利用者が多い。幼児・小中学生を中心に貸出を行っている。資料購入冊数は年間200冊程度。資料費に限られる中、リサイクル本や寄贈本の活用に努めている。引き続き、本に親しむことのできる環境を整えていきたい。	庄内少年文化館
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、放課後子どもクラブなど各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。	貸出校数／貸出冊数	40校／11,498冊	41校／12,140冊	41校／9,470冊	41校／12,390冊	全校で図書館からの団体貸出(読み物、紙芝居など100冊程度)を利用して、図書館コーナーを充実させている。今後も子ども達の身近な場所に本があるという環境を充実させ、読書を推進していきたい。	放課後子どもクラブチーム

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
44	図書コーナーの充実	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。	児童書購入数	55冊	32冊	26冊	73冊	継続して購入した結果、利用者の関心も増え利用されている。今後も継続的に男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する資料を充実していく。	すてっぷ
45	見学・交流会	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所(園)、幼稚園や他の施設の訪問や見学を行い、図書館サービスに関する情報提供を行う中で、必要な支援、連携を実施する。	実施状況	8館	8館	8館	8館	庄内幸町図書館を除く各図書館では、各地域の子育てに関わる人や、保育所の職員と情報交換を行う「子育て・子育て支援ネットワーク子ども部会」に参加し、それぞれの地域の子育てに関わる人と、情報交換を行った。同じ地域における子育てに関する情報を共有することでさらにきめ細かなサービスを行うことができ、それぞれがサービスを行う上で、必要な時には図書館といつでも連携できるような関係を作りが進んでいる。	読書振興課・図書館
46	本のある居場所づくり	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。	実施状況	実施	実施	実施	実施	「青年の家いぶき」のロビーは、放課後や試験期間、長期休暇中に多くの中学生以上の利用が見られる。その中学生以上の利用促進のためにいぶき図書室の開室日数や時間帯等のPRについて工夫が求められる。	青少年育成課 読書振興課・図書館

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

## 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
47	子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居などを行うボランティア活動を育成・支援する。	回数	103回	86回	76回	93回	5か所の支援センターでボランティアグループが、ペープサートや紙芝居などの作品を作り、それぞれの地域ニーズに応じた場所(公園・サロン・保育所など)で発表したり、また絵本の読み聞かせなどの活動を行っている。	子育て支援センター

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
48	出前おはなし会	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぷの登録団体が読み聞かせを実施する。	回数	—	—	—	—	実施なし(検討中)	すてっぷ
49	研修の機会の提供	登録団体の活動を支援するため学習の機会を提供する。	回数／参加人数	—	2回／60人	—	—	登録団体事業助成金事業を行っており、研修講座への助成も可能ではあるが、2013年度は、実施なし。	すてっぷ
50	情報の提供	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。	実施状況	随時	随時	随時	随時	ボランティアの活動場所の提供に努めている。	公民館

### 子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
51	職員研修	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中の読書の大切さを理解するための研修を行う。 [158をご参照ください。]	回数	3回	1回	1回	—	実施なし	読書振興課・図書館職員研修所関係施設
52	指導員研修会	放課後こどもクラブのおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取組みを行う。	回数／参加人数	—	—	—	—	学校図書館の活動と資料の充実、また図書館による全校放課後こどもクラブに向けての団体貸出により、放課後こどもクラブ内での指導員の読書に対する認識も高まってきたと思われることから、近年研修会は行っていないが、今後要望があれば対応していきたい。	放課後こどもクラブチーム読書振興課・図書館
22年度より追加	読書直結プログラム	読書と直結した児童館プログラムの中で図書に親しむ機会を創る。	回数／参加人数	20回／639人	22回／589人	—	—	実施なし	蛸池人權まちづくりセンター

### (3) 保育所(園)・幼稚園における子ども読書活動の推進

[アンケート調査対象] 保育所(園):公立19、民間31、家庭9 計59(回答54) 幼稚園:公立7、私立33 計40(うち回答34)  
 保育所(園)…保 幼稚園…幼 公立…公 民間…民 家庭…家 私立…私

#### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実績状況と課題	
53	絵本等の貸出	在所(園)する子どもやその保護者に本の貸出を行い、家庭で子どもと一緒に絵本やおはなしを楽しんでもらえるよう働きかける。	貸出冊数	(保)37所園(幼)24園で実施	(保)41所園(幼)25園で実施	(保)40所園(幼)22園で実施	(保)41所園(幼)21園で実施	保75.9%(公100%・家71.4%・民62%) 幼61.7%(公100%・私51.8%)で実施。  お迎えの時に親子で絵本を選べるよう玄関に絵本コーナーを設置するなど、平日図書館に行けない家庭の貸出を担っている。おたよりや掲示などで絵本を紹介し、絵本の楽しさを伝える活動を行っている園もある。	保育所(園) 幼稚園
54	地域での交流	小・中・高校生や地域の方が園で子どもに絵本の読み聞かせを行う機会をつくり、子どもが地域の人とふれあい、絵本に親しむ場とする。	読み聞かせ回数	(保)20所園(幼)12園で実施	(保)26所園(幼)10園で実施	(保)27所園(幼)10園で実施	(保)24所園(幼)9園で実施	保44.4%(公61.1%・家0%・民44.8%) 幼26.4%(公42.8%・私22.2%)で実施。  地域の文庫の世話人によるおはなし会やPTAによるおはなし会など、地域から多くの参加がある園もある。	保育所(園) 幼稚園 おはなしボランティアグループ
55	「おはなし会がやってきた！」	子ども文庫やおはなしボランティアグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。同時に、教諭、保育士と図書館、子ども文庫、おはなしグループの情報交換の場とする。[97をご参照ください。131にも掲載しています。]	回数／参加人数	—	—	3施設で7回／342人	2施設で6回／259人	支援学校1校(小学部低学年・高学年、中学部1～3年生対象に5回開催)、児童発達支援センター1か所で開催。例年児童発達支援センターは2か所で開催しているが、今年は日程の調整がつかず1か所のみとなった。普段から移動図書館に添乗している図書館職員と、毎年同じおはなし会のグループによって実施することで、おはなし会に参加する子どもたちの様子を継続して見ることができている。昨年度から図書館職員も演者として加わる機会が増え、より密接に連携して事業を行っている。今後も各施設の教職員・保育士と連携して、事業を継続していく。	読書振興課・図書館
56	図書館訪問	在所(園)する子どもが地域の図書館を訪問して、子どもが絵本やおはなしに親しむ機会を作る。	回数	(保)33所園(幼)16園で実施	(保)34所園(幼)13園で実施	(保)35所園(幼)12園で実施	(保)33所園(幼)10園で実施	保61.1%(公94.4%・家71.4%・民37.9%) 幼29.4%(公42.8%・私25.9%)で実施。  お散歩で月に1回程度クラスごとに近隣の図書館へ行って本を借りているところと、なかなか行くことができないところ、年に1・2回程度のところなど施設によって違いが見られる。予算の都合で新しい本を思うように購入できない場合、図書館を訪問することでそれらを補っている園もある。	保育所(園) 幼稚園 読書振興課・図書館
57	保育所(園)・幼稚園訪問	図書館職員が園(所)に向いて、おはなし会や図書館の使い方の説明を行い、絵本やおはなしの楽しさを伝える。[132にも掲載しています。]	回数	14園	12園	7園	5園	動く図書館では、年度末にきりん組を対象に、巡回先の保育所(園)でおはなし会を実施している。	○読書振興課・図書館 保育所(園) 幼稚園

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実績状況と課題	
58	絵本講座の開催	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	回数と参加人数	(保)11所園 (幼)11園 で実施	(保)9所園 (幼)12園 で実施	(保)13所園 (幼)13園 で実施	(保)6所園 (幼)10園 で実施	保11.1%(公16.6%・家0%・民10.3%) 幼29.4%(公100%・私11.1%)で実施。  保育所(園)幼稚園とも24年度よりも減少しているが、参加者は多い傾向にある。講座の場が、子育ての悩みや情報交換の場として活用されている例もある一方、読み聞かせに関心のある家庭とない家庭の差が大きいとの報告もある。	保育所(園) 幼稚園
59	絵本の紹介・貸出	保護者が参加する催しなどを利用して、子どもと保護者に絵本の紹介や貸出を行う。	事業実施園数	(保)35所園 (幼)19園 で実施	(保)39所園 (幼)16園 で実施	(保)30所園 (幼)14園 で実施	(保)37所園 (幼)19園 で実施	保68.5%(公88.8%・家71.4%・民55.1%) 幼55.8%(公85.7%・私48.1%)で実施。  保育参観、平和や人権のつどい、フェスティバル、生活発表会、クラス懇談、多文化共生プロジェクト、親睦会、保育所の行事で保護者向けに絵本や紙芝居を読む、おたよりの発行など、さまざまな機会をとらえて絵本を紹介している。保護者会としての所蔵数が年々充実してきているとの声もある。	保育所(園) 幼稚園
60	おたよりによる絵本の紹介	保護者に対して絵本だよりや貸出ノートを通して、絵本の楽しさを親子や保育士、幼稚園教員と共有したり、子どもと本との出会いの大切さや絵本の楽しさを伝えたりする。	事業実施園数	(保)36所園 (幼)24園 で実施	(保)44所園 (幼)27園 で実施	(保)35所園 (幼)24園 で実施	(保)38所園 (幼)24園 で実施	保70.3%(公72.2%・家85.7%・民65.5%) 幼70.5%(公100%・私62.9%)で実施。  園だよりやクラスだより、行事のおたより、連絡ノートなどでおすすめの本や、クラスで読んだ本を紹介している。保護者からの絵本を読んだ感想をのせているところや絵本ノートのやりとりをしているところもある。子どもと絵本の出会いの大切さについて伝えることをねらいとして、おたよりを発行している園もあった。	保育所(園) 幼稚園
61	地域の子どもと保護者への取組み(おはなし会)	地域の乳幼児と保護者が本に親しみ、楽しさを感じることができるように幼稚園の体験入園や保育所の地域交流等の機会を利用して、絵本の読み聞かせやおはなし会を行う。	回数	(保)35所園 (幼)33園 で実施	(保)39所園 (幼)33園 で実施	(保)41所園 (幼)24園 で実施	(保)40所園 (幼)24園 で実施	保74.0%(公94.4%・家14.2%・民75.8%) 幼70.5%(公100%・私62.9%)で実施。  公立保育所でのおはなし会が増加し、家庭保育所で実施をしているところもある。	保育所(園) 幼稚園
62	地域の子どもと保護者への取組み(絵本の貸出)	地域の子育て支援センター的な役割をになう場として、地域の乳幼児と保護者に絵本の貸出を行う。	貸出冊数	(保)15所園 (幼)10園 で実施	(保)20所園 (幼)9園 で実施	(保)21所園 (幼)8園 で実施	(保)20所園 (幼)8園 で実施	保37.0%(公61.1%・家14.2%・民27.5%) 幼23.5%(公71.4%・私11.1%)で実施。  読み聞かせに比べて貸出を行っている施設は少ないが、公立保育所では貸出の実施が増え、近年は家庭保育所で貸出の実施がなかったが、25年度は1園で実施された。	保育所(園) 幼稚園

## 子どもの本や読書に関する情報提供

### 読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実績状況と課題	
63	図書資料の充実	新規購入や図書館の団体貸出の利用により、絵本など図書資料を充実する。	新規購入	(保)48所園(幼)34園で購入	(保)50所園(幼)31園で購入	(保)47所園(幼)32園で購入	(保)47所園(幼)29園で購入	保87.0%(公88.8%・家100%・民82.7%) 幼85.2%(公100%・私81.4%)で実施。  積極的に蔵書の購入や団体貸出を行なう園が多い。月刊絵本を配布したりするなどして、家庭でも絵本を楽しんでもらうように、保護者に対しての働きかけを工夫しているところもある。	保育所(園) 幼稚園 読書振興課・図書館
64	絵本コーナーの充実	絵本の部屋や絵本コーナーを充実して、親しみやすく興味をもてるような読書環境をつくる。	絵本コーナーの充実	(保)49所園(幼)35園で実施	(保)47所園(幼)35園で実施	(保)48所園(幼)32園で実施	(保)48所園(幼)29園で実施	保88.8%(公88.8%・家85.7%・民89.6%) 幼85.2%(公100%・私81.4%)で実施。  玄関先など子どもと保護者が見やすい場所にコーナーを設置している保育所(園)・幼稚園が多い。なかには、送迎時に親子で絵本を読む姿が見られたり、貸出の利用が盛んな園もある。各クラス室に絵本コーナーを設置するほか、施設内のスペースを活用してコーナーを作るなど、子どもが好きなときに自由に絵本を手にとれるよう工夫している。絵本コーナーで、読み聞かせの時間を設けている園もある。	保育所(園) 幼稚園
65	絵本の大きさを伝える取組み	絵本の整理や片付け、修理など子どもと保育士、幼稚園教員が一緒に行い、絵本を大切に扱うことを伝える。	取組み園数	(保)52所園(幼)33園で実施	(保)45所園(幼)29園で実施	(保)45所園(幼)30園で実施	(保)47所園(幼)29園で実施	保87.0%(公77.7%・家100%・民89.6%) 幼85.2%(公100%・私81.4%)で実施。  普段から、絵本の片づけを保育士と子どもがともに行っている。修理を子どもの目の前で行ったり、一緒に修理をしたりして、扱い方を伝えている園も多い。また、年長児が定期的に本の整理をしている園や、PTA活動として保護者が整理や修理を行っている園が複数あった。	保育所(園) 幼稚園
66	地域に開かれた幼稚園づくり事業	市内の私立幼稚園が、幼児教育の充実に向けた取組みや、地域の未就園児とその保護者などを対象にした子育て支援を行う。その中で読み聞かせやパネルシアターなどで本に親しむ機会を提供している。	事業実施園数	33園	33園	20園	20園	専門的な視点から、年齢に応じた絵本の紹介、親子での楽しみ方を学んだ。指導者の読み聞かせを母子一緒に体験し、それにかかわる親子の遊びやペープサートなど充実したものになった。子どもが感じたことを親が直に感じることができる時間となった。	保育幼稚園室

## 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実績状況と課題	
67	保護者のサークル活動への支援	保護者による読み聞かせやストーリーテリング等を行うサークル活動を支援する。	事業実施園数	(保)5所園 (幼)9園 で実施	(保)3所園 (幼)6園 で実施	(保)5所園 (幼)7園 で実施	(保)5所園 (幼)8園 で実施	保9.2%(公16.6%・家0%・民6.8%) 幼23.5%(公71.4%・私11.1%)で実施。  実施している園はまだ少ないが、PTA活動の一環として定期的におはなし会で読み聞かせをしたり、園児の誕生日会でペープサートを上演したりといった活動を保護者が行っている。園は場所の提供の他、具体的な活動内容の相談にのったり必要なものを用意したりしている。	保育所(園) 幼稚園
68	青少年ボランティアへの支援	乳幼児への読み聞かせを行うボランティア活動の場を提供する。 〔15、88、154をご参照ください。〕	回数	(保)13所園 (幼)3園 で実施	(保)5所園 (幼)2園 で実施	(保)7所園 (幼)2園 で実施	(保)5所園 (幼)2園 で実施	保9.2%(公16.6%・家0%・民6.8%) 幼5.8%(公28.5%・私0%)で実施。  ボランティアサークルが毎月絵本の読み聞かせをしている保育所もある。	保育所(園) 幼稚園

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実績状況と課題	
69	図書館との連携	保育所(園)・幼稚園と市立図書館が、それぞれの事業案内をしたり図書情報を提供するなどの連携し、子どもが本と出会う機会を広げる。	事業実施園数	(保)21所園 (幼)7園 で実施	(保)19所園 (幼)7園 で実施	(保)19所園 (幼)5園 で実施	(保)18所園 (幼)6園 で実施	保33.3%(公50.0%・家14.2%・民27.5%) 幼17.6%(公28.5%・私14.8%)で実施。  お散歩や、夏休みの預かり保育時の図書館来館や、図書館でのおはなし会への参加。図書館から遠い園でも、移動図書館や配本を利用している。また、保育所内に文庫を開設し、図書館と連携して、定期的に本の補充や、団体リサイクルの活用を行っている園もある。	保育所(園) 幼稚園

## 子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実績状況と課題	
70	教職員研修	保育士や幼稚園教員が子どもの読書の意義や大切さについて、理解と関心を深めるために研修を行う。	回数／参加園数	(保)26所園(幼)23園で実施	(保)31所園(幼)22園で実施	(保)32所園(幼)24園で実施	(保)30所園(幼)23園で実施	保55.5%(公38.8%・家42.8%・民68.9%) 幼67.6%(公71.4%・私66.6%)で実施。  家庭保育所で前年比26.2%増、私立幼稚園でも前年比9.1%増となっている。豊中市主催の研修に参加している家庭保育所や園外での研修に個人で参加する私立幼稚園や民間保育所もある。また公立幼稚園や公立保育所では絵本検討会や研究部会を立ち上げるなど、それぞれの園で熱心に取り組まれている様子が伺える。	保育所(園)幼稚園
71	情報の共有	保育士や幼稚園教員が絵本をお互いに紹介したり、絵本に関する研修会の内容を伝え合うなど、子どもの読書に関する情報を共有する。	事業実施園数	(保)37所園(幼)28園で実施	(保)33所園(幼)25園で実施	(保)38所園(幼)25園で実施	(保)35所園(幼)25園で実施	保64.8%(公66.6%・家57.1%・民65.5%) 幼73.5%(公100%・私66.6%)で実施。  回覧やミーティングでの報告により研修の成果を共有している。日々の保育の中で年齢に応じた本を知らせたり、子どもの反応や人気の絵本を伝えあっている。また、保育所・幼稚園・小学校が集まる機会に情報を共有している園もある。	保育所(園)幼稚園
72	情報交流と研修	図書館や保育所(園)、幼稚園で行う研修の情報を、相互に案内し合うなどして他の施設と共有し、研修を受ける機会を広げる。 [120、157をご参照ください。]	事業実施園数	(保)8所園(幼)5園で実施	(保)8所園(幼)1園で実施	(保)9所園(幼)4園で実施	(保)7所園(幼)2園で実施	保12.9%(公22.2%・家0%・民10.3%) 幼5.8%(公14.2%・私3.7%)で実施。  他施設の職員と情報交換するに至っていないところが多いが、図書館で開催される子どもと本に関わる講座の情報を職員に知らせ参加しているところや園内での研修を他の園と共有し合同発表している例もある。	保育所(園)幼稚園読書振興課・図書館
73	絵本検討会	絵本検討会で人権の視点からリストを作成し、絵本の選書を行う。	回数	3回	4回	4回	4回	人権保育基本方針の内容を視野に入れ先行した絵本の発注の受注を行った。保育所における推薦図書を活用状況と発信方法の検討を行っている。	市立保育所
74	豊中市幼稚園教育研究会	幼児教育にかかわる専門的知識の修得に努める。その中の一つとして、絵本を題材に人形劇を作成・実践し、豊かな心を育む教材作りを研究する。	回数／参加者数	8回／308人	8回／342人	14回／315人	13回／241人	テーマにそって研究を進める「子どもと楽しむ絵本」と「ペープサート」部会において、講師を招きより研究を深め、実践を行った。年度末には、幼稚園7園を参集し、報告会を行った。	保育幼稚園室

## (4) 学校における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
75	子どもの読書活動への取組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	実施校数	全校	全校	全校	全校	読書郵便、本のPOPや帯の作成、生徒によるおすすめ本や読書会の冊子の作成、平和学習のレポートなど、各学校で行われた様々な取組みの中で作成した作品を地域の公共図書館で展示し、地域への情報発信を行った。 また、「読書感想文コンクール」等の各種コンクールへの応募や、図書館と近隣の小中学校との協同でのスタンプラリー、職場体験学習での小学生への読み聞かせなどの取り組みも行った。図書委員会の活動も活発である。読書振興課のイベント知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」図書館って楽しいよ～図書館の達人グループによる発表会～に参加するなど多様な取組みが行われた。	小中学校読書振興課・図書館 教育推進室小中学校チーム
76	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取組みを進める。	実施校数	全校	全校	全校	全校	学校図書館活用の年間計画を立て、利用教育、調べ学習、読書指導を計画的に実施した。各教科や「総合的な学習の時間」などで、参考図書の使い方や調べ方、奥付の見方、著作権、情報モラルの説明などの利用教育を担当とともにいった 集団読書や「朝の読書」を教育活動の中に位置づけ、取り組んだ学校もある。 また、毎月、担任教諭に「図書の時間の計画表」を作成してもらい、学習にあった読み聞かせや、本の紹介を実施した。 授業の中では、教員と学校図書館専任職員(以下、学校司書)など学校図書館担当者が協力して、調べ学習のほか、学習内容に関連した本の紹介、ブックリストの作成、ブックトーク、読み聞かせ、テーマ読書などを行い、図書館と各教科との連携強化を図った。連携の成果物は、図書館を活用した授業内容として記録した。 読むことが苦手な児童生徒への手立てとして、読み聞かせや、担任や学校司書から本選びのアドバイスなどを行った。 小学3年生では、公共図書館見学を実施し図書館に親しむように努めている。また、事前学習として、図書館で本の並び方や種類などを学び、見学後に自分のお気に入りの1冊を学校図書館の中で見つけ、絵や感想を書いて展示した。また、中学校ではビブリオバトルなどが行われた。 「学校図書館支援ライブラリー」(庄内幸町図書館2階)の「教員支援用資料」や、セット組みした「調べ学習パック」「総合百科事典ポプラディア」を借り、教職員の取組みや授業に活用された。	小中学校教育推進室小中学校チーム 読書振興課・図書館
77	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取組みを行う。	オリエンテーション実施校数	全校	全校	全校	全校	年度初めなどに学校図書館でオリエンテーションを実施し、図書館の意義、使い方、分類、読書のプライバシー、図書館ネットワークの他、リクエストやレファレンスサービスなどの図書館サービスを児童生徒に伝えた。 授業のある日は毎日図書館を開館し、「図書の時間」や休み時間、放課後に貸出を行うだけでなく、教室で読書ができるように、学級文庫用の本の貸出を行った。 週2回の物流便により公共図書館や市内他校の協力を得ることで、児童生徒により豊かな資料提供を行うことができた。 生涯学習を見据え、公共図書館の利用をすすめ、公共図書館の蔵書検索方法について、コンピュータを使って体験する機会を持った。	小中学校教育推進室小中学校チーム 読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
78	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味が持てるような機会をつくる。図書館便りや季節や行事、授業に関連したテーマ展示等を実施し、読書活動を支援する環境をつくる。テーマ別に本の紹介リストを作成する。	図書館だよりの発行	随時	随時	随時	随時	読書週間、図書館まつり、読書郵便、読書ノート、本の帯やポップ、おすすめ本の紹介カードや冊子の作成、本の一文・挿絵コンテスト、読ん棚、読書ビンゴ、読書の木、読書チャレンジカード、ブックレイン、スタンプリー、本のランキング、先生のおはなし会・ブックトーク、アニメーションなど、読書への意欲につながるように、さまざまな取組みを行った。 図書館だよりは児童生徒向けのを毎月1~2回発行し、必要に応じて教職員向けのものも発行した。授業・行事・時事問題・季節に関連したテーマ展示で、本への興味を持てるようにした。展示はメインテーマだけでなく、いくつか展示コーナーを作り、常に新しいものがあるようにした。 生徒の興味、関心に沿った本の情報は図書館内だけでなく、廊下などにも展示した。 夏休みの図書館開館日には、図書委員による大型絵本の読み聞かせや、教職員、保護者、保護者ボランティア、中学校の図書委員によるペープサート、折り紙教室、工作教室、科学あそび、読み聞かせなどを実施した。	小中学校
79	小学校・中学校の連携	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを小学校・中学校が連携して行う。公共図書館とボランティアの指導により、地域との連携をすすめる。	小中連携校区数	18/18 中学校区	18/18 中学校区	18/18 中学校区	18/18 中学校区	学校司書連絡会・公共図書館との地域館交流会で、小中学校間での図書館だよりの交換や情報交流を行った。 各校の様子を教職員に知ってもらうために、校区内の図書館の取り組みや学校支援ライブラリーの紹介をするほか、共同で図書館だよりを発行、配布した校区もある。小学6年生の卒業前には、中学校の図書館だよりの配布や図書館案内を配布して、中学校図書館への期待と関心を持ってもらうことができた校区もあった。 学校図書館紹介ポスターや、中高生が作成した本のPOPを展示した小学校もある。 小学校で、中学生によるおはなし会、工作教室、紙芝居を行った学校もある。その際、紙芝居の読み方を、学校図書館と公共図書館が連携して指導した例もある。 公共図書館と学校図書館による「司書大賞」を実施した校区もある。	小中学校

・小学生がたくさんいて緊張しました。大きな声で読めてとてもよかったです。  
・皆、静かに、ちゃんと聞いてくれて良かったです。  
・最初は不安だったけど、終わった後みんな「楽しかった」と言ってくれてめっちゃ嬉しかった。人をこんなに笑顔にできる本のことをも〜っと好きになった。  
・みんな静かに聞いてくれたし、いっぱい質問してくれて、嬉しかったです。また、参加できたらいいなと思いました。  
・皆、元気一杯ですごくピュアでいやされました。くいずも本読みも大きい声で答えてくれてうれしかったです。とっても面白い経験をしました。ありがとうございました。  
・図書委員として、小学生の人たちと交流が出来てよかった。楽しんで聞いてくれているのか心配な面もありましたが、ページをめくると上がる歓声がとてもうれしかったです。

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
80	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取組みを充実させる。	実施校数	全校	全校	全校	全校	<p>知りたいことを自分で調べられるようになる手助けとして、百科事典、国語・漢字辞典、図鑑、年鑑などの参考図書の使い方・資料の読み方を説明した。</p> <p>レファレンスサービスについて説明し、リクエストを勧めた。児童生徒がレファレンスや読書相談をしやすいうように、図書館だよりや、カウンターの掲示でアピールした。レファレンスの依頼があった時は、丁寧に対応するように心がけた。</p> <p>児童生徒が読みたい本や知りたいことを自分で見つけられるよう、館内表示や季節や学習の単元に合わせた掲示を充実させた。</p> <p>ブックリスト、レファレンスシート、パスファインダー、ライブラリーナビ、調べ方の手引の作成、図書館や分類のしくみについての学習の機会を多く持つなど、児童生徒が読みたい本や知りたいことを見つけられるような取組みを充実させた。また一人では本を探し出せない児童生徒への支援を日常的に行った。</p> <p>新刊本や児童生徒によく読まれる本が手に取られやすいよう書架に余裕を持たせ、本の表紙を見せるなどの工夫を行うとともに、内容が古くなった本は除籍や書庫へ移動させた。</p> <p>新しい本に関する情報を随時収集し、児童生徒の話を聞きながらそれに合った本をすすめられるようにした。</p>	小中学校

### 子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
81	保護者への取組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	実施校数	全校	全校	全校	全校	<p>保護者への働きかけとして、図書館だよりや保護者向けのたより、学校ウェブサイトなどで、「子どもの読書の大切さ」や新着本情報、地域のイベント、オリジナルの読書ノートの活用方法など学校図書館の状況や活動が伝わるように工夫することによって、子どもの読書を大切にする意識付けを促した。</p> <p>児童が学校から本を持ち帰り、保護者に読んでもらう「親子読書」を実施した学校もあった。</p>	小中学校教育推進室 小中学校チーム 読書振興課・図書館
82	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	「子どもと本をつなぐ地域交流会」の回数／参加人数	3回／67人	2回／66人	2回／101人	2回／59人	<p>平成25年度の交流会では、①豊中市子ども読書活動推進計画について、子どもと本をつなぐ活動をしている市民、職員に知ってもらおう。②普段の活動や仕事計画とどう関連しているかを意識してもらおう。③例えば事例報告などを通じて第1期からの課題の解消が図れているかの確認作業を進めていく。④取り組みの拡がりを確認でき、成果の発表の場となるような仕掛けを考えるという4つのねらいがあった。</p> <p>これを受けて、パート1では、1期の終わりに課題とされた事項は、現状でどう取組みがおこなわれているかについて事例報告を通じて確認した。</p> <p>パート2では、「私たちの子ども読書～1枚の写真から」と題して、広く呼びかけてそれぞれの立場での子ども読書というテーマにふさわしい写真の提供を受け、当日はその写真をスクリーンに投影し、写真提供者にコメントしていただいた。その後、小グループとなり意見交換、それぞれの写真に対する感想を寄せ合った。</p> <p>この結果、それぞれの領域で取り組みの広がりや成果が確認でき、豊中市における子ども読書活動推進計画がそれぞれにとって身近なものとして定着してきていることが分かった。</p>	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム

## 読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
83	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、学校図書館図書整備費などをふまえ、学校図書館図書標準の達成率を高め、図書費の確保等、資料整備を進める。	図書購入予算	当初予算(学校配当)4,300万円	当初予算(学校配当)4,357万円	当初予算(学校配当)4,404万円	当初予算(学校配当)4,362万円	厳しい財政状況の中、前年度と同基準の予算を確保した。義務教育施設の耐震性確保といった安心・安全に対する喫緊の課題への対応などにより、困難が予想されるが、同水準の予算確保に努めたい。	○学校施設管理チーム 総務チーム 教育推進室 小中学校チーム
84	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。	空調設備設置校数	—	40/59校	47/59校	57/59校	小学校冷房設備工事で、学校図書館未整備校(10校)にエアコンを設置した。また今後の課題として残りの未整備校(2校・南桜塚・西丘)についても設置していく予定。	○教育総務室特任主幹
85	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。 [p.62「追加」をご参照ください]	実施状況	—	—	—	実施	「とよなか読書活動支援システム(蔵書管理システム、情報共有システム、授業活用データベース)」を本格稼働させた。 学校図書館専任職員および教職員対象に操作研修会の実施やサポートセンターによる操作支援を行った。 来年度はシステムの安定稼働および活用に向けた研修の充実が求められる。	○読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校教育センター
86	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。 [p.62「追加」をご参照ください]	実施状況	—	—	—	実施	「とよなか読書活動支援システム」の本格稼働を受け、週2回に増便した資料運搬システムを活用し、従来運搬対象外としていた調べ学習用のセット資料や百科事典セットの物流便での運搬を実現した。	○読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
87	地域館交流会	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 [151]にも掲載しています。]	実施回数	8回	1回	2回	2回	エリアによっては、地域館交流会を学校図書館で行い、学校図書館の様子を知る機会になっている。交流会が年2回になったことにより、市立図書館で学校図書館資料を活用した児童・生徒の作品や学校図書館を紹介する展示を開催したり、夏休みに市立図書館司書が学校図書館での支援を行ったり、市立図書館から学校図書館だよりに記事を提供する、市立図書館司書と学校司書のおすすめ本の中から大賞を決める司書大賞を行う等、連携が進んだ。 来年度は小中連携も視野に入れながら、市立図書館と学校図書館との一層の連携強化を図っていく。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム

## 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
88	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 [15、68、154をご参照ください。]	回数／参加人数	3回／23人	3回／31人	3回／23人	3回／17人	高校生・大学生・短期大学生計6名の受講者を対象に3日間にわたり、読み聞かせボランティアとしての心構え、絵本の読み方選び方などの指導を行った。最終日の実践では一人一人が責任を持って保育所の子どもたちに読み聞かせを行った。子どもたちの反応もよく、受講者全員が楽しく読み聞かせに取り組むことができた。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム おはなしボランティアポケット
89	「学校における読み聞かせボランティアバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行っているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行う。 [14、153をご参照ください。]	回数／参加人数	3回／42人	2回／15人	3回／49人	4回／69人	学校で読み聞かせを行っているボランティアの講座は、年度初めの校園長会で学校や園を通じてお知らせし、希望があったグループへは地域の図書館が担当して実施している。また講座の形ではないが、ボランティアへの図書館員による選書のアドバイスは日常的に行っている。	読書振興課・図書館

## 子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
90	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用の必要性・有効性に関して研修を行う。	回数	2回	3回	3回	4回	教頭対象の学校図書館教育研修1回、管理職・司書教諭・学校司書対象研修を2回実施した。管理職・司書教諭・学校司書対象研修は、学校図書館を活用した授業づくりをテーマとして実施した。	読書振興課・図書館 教育センター
91	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。[156をご参照ください。]	回数	1回	5回	10回	44回	夏休みに新任教員の研修を岡町・野畑・千里図書館で受け入れた。 夏休み期間中の教職員対象の校内研修において読書振興課職員より、とよなかブックプラネット事業の概要説明、公共図書館と学校図書館との連携(子ども読書活動推進計画含む)について、とよなか読書活動支援システムについて説明を行った学校もあった。	読書振興課・図書館 小中学校
92	学校図書館教育担当者(司書教諭)研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。	回数	2回	2回	2回	2回	学校図書館教育研修会に図書館職員も参加し、司書教諭と情報交換を行った。 司書教諭の役割を理解してもらうために、実践事例を学ぶ研修と情報交換を行う研修を開催した。	教育推進室 小中学校チーム
93	学校司書研修	学校教育における効果的な読書活動並びに学習活動への支援に関する研修を行う。	回数	12回	12回	12回	17回	毎月の学校図書館専任職員連絡会のほかに、システム研修会を開催し、学校図書館機能の一層の充実を図った。年度末には、システム稼働1年を振り返り、今後の学校図書館教育のあり方についての研修会を開催した。	読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校チーム

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年度)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
22年度より追加	とよなかブックプラネット事業	学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」「教員支援センター」としての機能向上をめざし、多様な読書活動の取組みを一層普及・定着させるとともに、言語活動の充実や授業改善など教育活動の充実を図る。 [85、86をご参照ください]	実施状況	実施	実施	実施	実施	「とよなか読書活動支援システム」を本格稼働し、操作研修や物流便(資料運搬システム)の充実を図るほか、「学校図書館支援ライブラリー」(庄内幸町図書館)での、未所蔵の教員向け資料の予約受付開始など、資料面での充実にも努めた。また、学校図書館司書と公共図書館司書の交流研修を行い、連携を強化した。 「とよなかブックプラネット事業」による学校図書館活用に向けた環境整備、環境機能の運用面での基盤づくりについては、今年度をもって計画通り実現が図られた事を、ブックプラネット事業推進委員会にて確認した。具体的な取り組みとしては、知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、「図書館って、楽しいよ～図書館の達人代表グループによる発表会～」「子ども読書活動フォーラム」を開催した。今後は、整備された環境を効果的に利活用した取組みの推進とその進行状況と効果の確認を継続的に行っていくことが課題。	読書振興課・図書館教育推進室小中学校チーム

今年度の子ども読書活動フォーラムは「つたえたい”グッとくることば”」として、児童文学作家石崎洋司さんと令丈ヒロ子さんによるトークライブと小・中学校長や市立図書館長によるビブリオバトルという2部構成で開催した。

(参加者アンケートより)

- ・私も、物語を書くのが好きなので、いろいろさんこうになりました。ためになる話をありがとうございました。石崎さんと令丈さんのいきがびったりでよかったです。
- ・とてもよかったです！学校の図書室の先生からすすめられたチラシを見ておうぼしてよかったです。ビブリオバトルは、ほとんど読みたい本でよかったです。トークライブはさんこうになりました。石崎先生のお話はちょっと笑えるともありました。しょうらいのゆめは青い鳥文庫の作家です！いつか、令丈ヒロ子先生か石崎洋司先生みたいなプロの作家になりたいです。来てよかったです。おみやげもすごいし、またちがう先生のコンサートひらいてください。小林みゆき先生かあさのあつこさんとか・・・。
- ・いろんな本のしょうかいや、トークも聞けてよかったですと思う。



「子ども読書活動フォーラム」小・中学校長や市立図書館長によるビブリオバトル

## (5) 障害のある子どもや外国人の子どもなどの読書活動の推進

### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
94	読書活動	保育や教育の場で子どもの状況に応じて、日常的に絵本の読み聞かせや子どもと本をつなぐ取組みを行う。	動く図書館 貸出冊数	16,407冊	18,480冊	18,191冊	18,103冊	<p>教育の場で児童生徒の状況に応じて、授業内で絵本の読み聞かせを行ったり、自立活動の時間において児童生徒と本をつなぐ取組みを行っている。(刀根山支援学校)</p> <p>保育室等に子どもが自由に手に取ることができるように絵本棚を設置。友だちと一緒に楽しむような場面もある。園の本を貸出し、家庭でも読んでもらえるようにしている。</p> <p>動く図書館では子どもたちが好きな本を選び、借りた本は家で読んでもらっている。年4回ほど保育室に絵本を運んでもらい、小さな図書館のような感じでゆったりと本を選ぶ経験ができて好評だった。</p> <p>クラスでの活動に関係するような本をリクエストしてみんなで読んでいる。季節の行事に関係のあるお話なども楽しんできた。</p> <p>大型絵本の数も増えていて、みんなで一緒に楽しめている。</p> <p>外来の子どもたち対象に週1回保育(どんぐりクラブ)をしているがそのときには毎回読み聞かせを行っている。月齢の小さい子が参加することが増えてきて、小さくても絵本を楽しめる姿から、お家でも読んでみようかなと保護者が思えるようなきっかけ作りができたかと思っている。(しいの実学園)</p> <p>各教室に絵本の棚があり、休み時間には児童が自分の好きな絵本を手にとり楽しんで読んでいる。授業中、朝の会・終わりの会で絵本の読み聞かせをしている。入学当初はなかなか絵本に集中できない児童も、経験を積むことで次第に絵本の読み聞かせが好きになり、楽しめるようになる。(豊中支援学校)</p> <p>朝の設定保育の導入や給食準備中、おかえり(保育終了時間)の前など絵本の読む機会を多く持っている。絵本のおはなしが遊びへと発展するクラスもあった。子どもが絵本に興味がないと思っている保護者に子どもが興味を持ちそうな絵本を紹介してきた。引き続き保育の中に積極的に取り入れていきたい。保護者や担任のひざに座って読んだり、知っているものを見つけて指さしたり、子どもの興味が広がり、やり取りする場面が見られた。(あゆみ学園)</p>	刀根山支援学校 しいの実学園 あゆみ学園 豊中支援学校
95	「おやこでにほんご」	地域に暮らす外国人親子が安心して参加できる親子参加型日本語教室を図書館で継続して行うことで、外国人親子の読書推進、母語継承の問題など、地域課題のひとつであるマイノリティ住民の抱える問題解決につながる事業としていく。	回数／参加人数	72回／1,013人	74回／1,048人	110回／1,591人	61回／1,215人	<p>毎週火曜日の10時から12時まで外国人親子のための居場所作りを、岡町、庄内、千里の3図書館で行っている。毎回数組の外国人親子が日本人ボランティアと一緒に日本の生活や子育ての情報交換をする。また、図書館で活動できるメリットから、読み聞かせなどを通して、絵本にふれる機会を作っている。ブックスタート事業えほんはじめまての会場でも、外国人親子の受診があれば「おやこでにほんご」のパンフレットをお渡しするなど案内を行っている。日本語による読み聞かせは、日本語や日本文化を知る場になっており、母親の母語による読み聞かせはその子どもが母親の文化にふれる機会になり、他の親子にとっても異文化にふれ学ぶ場になっている。また、母親自身にも日本での活力と自信を得ることができる良い機会になっている。その為にも、図書館の外国語の本をもっと積極的に活かしていきたい。今後は地域で孤立している外国人親子と出会い、外部機関と連携をし、支援する他、外国人親子が安心して参加できる居場所作りに励みたい。(おかまちおやこでにほんご・とよなか国際交流協会)</p>	○おやこでにほんごとよなか国際交流協会 読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
96	市立図書館における多文化サービスの充実	外国人市民が図書館を利用するきっかけとなる事業や、地域の多文化共生を推進するための事業を図書館、とよなか国際交流協会、市民ボランティア等が連携して行う。	おはなし会の回数／参加人数	2回／87人	2回／27人	1回／14人	2回／87人	岡町図書館では毎年豊中子ども文庫連絡会との共催事業である「子どもと本のまつり」において、ボランティアの協力を得て、多言語のおはなし会を実施しており、25年度はロシア語と英語のおはなし会を実施した。また庄内図書館で多文化共生支援の一環として、ネパール語とタイ語の絵本読み聞かせとそれぞれの国の遊びを紹介する「絵本と歌でいろいろな国に出会う 多言語であそぼう！」を開催した。	読書振興課・図書館市民団体(地球ママくらぶなど)とよなか国際交流協会
97	「おはなし会がやってきた！」	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [55をご参照ください。131にも掲載しています。]	回数／参加人数	6回／303人	7回／319人	7回／342人	6回／259人	支援学校1校(小学部低学年・高学年、中学部1～3年生対象に5回開催)、児童発達支援センター1か所で開催。例年児童発達支援センターは2か所で開催しているが、今年は日程の調整がつかず1か所のみとなった。普段から移動図書館に添乗している図書館職員と、毎年同じおはなし会のグループによって実施することで、おはなし会に参加する子どもたちの様子を継続して見ることができている。昨年度から図書館職員も演者として加わる機会が増え、より密接に連携して事業を行っている。今後も各施設の教職員・保育士と連携して、事業を継続していく。	読書振興課・図書館
98	子ども文庫での活動	子ども文庫が地域の中で本に出会える場であるということやPRし、障害のある子どもや外国人の子どもも絵本やおはなしを楽しめる場となるよう、図書館やとよなか国際交流協会などと連携して活動する。	実施状況	随時	随時	随時	随時	4か月児健診では図書館からの配布物セットのなかに「こどもぶんこのしおり」を入れて、子ども文庫のPRを行っている。また、図書館との共催事業として毎年実施している「子どもと本のまつり」では、多言語によるおはなし会を行い、すべての子どもたちがおはなしや読書を楽しむことができるよう事業を展開している。文庫によっては、地域にある障害児のデイサービスに絵本を読みに行ったり講座の案内をするなどの活動を行っている。文庫では個々の利用者に応じた、きめ細かな対応ができるように、他の団体と連携を取りながら活動している。今年度はとよなか国際交流協会と連携する事業はなかったが、必要に応じていつでも連携がとれるようにしていきたい。(豊子連)	○豊子連読書振興課・図書館とよなか国際交流協会
99	絵本講座の開催	絵本の講座やおはなし会の中で保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取組を行う。 [6、127をご参照ください。]	回数／人数	1回／20人	45回／1,669人	42回／1,420人	4回／139人	25年度も子育て支援センターや社会福祉協議会を通じ、多くの子育てサロン・サークルから出前講座の依頼があった。子育て支援センターと共催で絵本講座を行った図書館もある。おもに近隣の図書館のこども室担当者が出向き、絵本についての話や、絵本の読み聞かせなどを行い、地域の中で本と親しむ機会としている。また、公民館と連携しての絵本講座も行った。地域子育て支援センターと共催で絵本講座を行った例もある。	読書振興課・図書館
100	絵本講座の開催	外国人保護者に子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取組を行う。	回数／人数	1回／20人	1回／25人	—	1回／30人	12月に実施した豊中市教育委員会との協働事業である「多文化フェスティバル」において、小さな子どもや言語がわからない人でも絵を見るだけで、大体的内容がわかる、易しい多言語の絵本を、その国の言語と日本語で交互に読み聞かせを行った。また、日本の絵本も外国語と交互に読んだ。当日は「多文化ミニとよなか」という子どものイベントと並行して行ったので、子どもがあまり参加できなくて残念だったとの声と、参加者の反応が大変好評だったので、次年度も参加者全体が、この読み聞かせに参加できるような場の設定を考えたい。	とよなか国際交流協会人権教育室教育推進室

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
101	図書館見学会および保護者への図書館利用の案内	児童発達支援センターや支援学校の子どもと保護者に対して図書館見学会を行う。またその際に障害のある子どもと保護者や障害のある保護者が子どもと一緒に図書館を利用しやすいように、利用の方法など図書館のサービスについて詳しく案内し、同時に保護者の声を聞く機会を定期的に持つ。	実施回数 参加人数	2回 / 66名	2回 / 96名	2回 / 96名	1回 / 71名	<p>今まで図書館へ行くことをためらったり、足が遠のいていた保護者の方から、「いい機会でした」「また来年も続けてほしい」との声が聞かれた。(あゆみ学園)</p> <p>今年度は図書館見学の機会は持てなかったため、次年度にはまた、そんな機会を設けていきたい。(しいの実)</p> <p>あゆみ学園の児童を対象に野畑図書館にて図書館見学を実施。おはなし会のあと、フロアで直接本を選んでもらい、貸出を行った。月末休館日を利用して行ったため、他の利用者に気兼ねすることなくゆっくりと見学していただけた。しいの実学園については、今年度は日程が合わず実施できなかった。(図書館)</p>	○読書振興課・図書館 児童発達支援センター(あゆみ学園、しいの実学園)
102	図書館見学会	外国人の子どもや保護者、その支援に関わる協力者に対して図書館見学会を行う。	実施回数 参加人数	未実施	2回 / 20人	1回 / 15人	未実施	<p>「見学会」という名前では実施していないが、日常的に図書館見学を希望する外国人には個別に案内した(とよなか国際交流協会)</p> <p>「おかまちおやこでにほんご」のスタッフや参加者とは日常的に図書の相談にのったり意見交換を行っている。今後おやこでにほんごの会場に図書館職員が参加する機会を増やしていきたい。(岡町図書館)</p>	○読書振興課・図書館 とよなか国際交流協会 市民団体(地球ママくらぶなど)
103	動く図書館による施設サービスの実施	動く図書館が児童発達支援センターや支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ本を貸出する。動く図書館の巡回について、教職員や保護者の意見に対応し、各施設の読書環境の整備を支援する。	動く図書館で巡回している施設数 / 貸出冊数	10ヶ所 /計 16,407冊	10ヶ所 /計 18,480冊	10ヶ所 /計 18,191冊	9ヶ所 /計 18,103冊	<p>約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。個別の要望については巡回時に聞き取りを行っている。</p>	読書振興課・図書館
104	小児科病棟のおはなし会の実施	市立豊中病院とおはなしボランティア(おはなしたまてばこ)、市立図書館が連携し、小児科病棟のおはなし会を行う。	おはなし会の回数	44回	46回	46回	47回	<p>非感染ルームとプレイルーム、そして病室での読み聞かせ活動が実を結んでいる。保護者からも感謝のメール、電話が図書館に寄せられた。対象年齢が幅広く、人数も事前に把握できないので対応を工夫している。病院の保育士の協力を得ている。(おはなしたまてばこ)</p>	○おはなしたまてばこ 市立豊中病院 読書振興課・図書館
105	「図書館へようこそ」の周知	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、「図書館へようこそ」(バリアフリー宣言)を周知するとともに、ハード、ソフトの両面について、図書館利用の障害を無くよう取り組む。[1211にも掲載しています]	実施状況	随時	随時	随時	随時	<p>4か月児健診や出前講座に出向いた時にも、「図書館へようこそ」の精神を伝えPRしている。4か月児健診で案内することで、視覚障害や弱視の方の図書館利用につながるケースもあった。</p>	読書振興課・図書館

## 子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
106	絵本などの情報提供	図書館のウェブサイトやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [5、137にも掲載しています。]	実施状況	実施	実施	実施	実施	項目No.5と同じ	読書振興課・図書館
107	図書館のPR	渡日外国人児童生徒の相談窓口、とよなか国際交流協会などで、多言語の図書館利用案内を配布する。	とよなかこども配布部数 読書マップ	10,000部	14,000部	14,000部	14,000部	「とよなかこども読書マップ」を活用して情報提供を行った。また、国際交流センターの多言語絵本を紹介した多言語チラシを活用し、周知を試みた。(とよなか国際交流協会) 前年度に引き続き市役所で転入の手続きをされる方に情報提供として「とよなかこども読書マップ」を配布した。また渡日外国人・帰国児童生徒の保護者には「とよなかこども読書マップ」や多言語の図書館利用案内を配布して、活用してもらえよう担当部署に働きかけた。図書館作成のパスファインダー2種類(「国際交流」と「外国人のための生活ガイド」)を人権文化部に配布した。(読書振興課・図書館)	とよなか国際交流協会 読書振興課・図書館 市民課 人権教育室

## 読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
108	市立図書館の外国語資料の充実	関係団体と協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、市立図書館の外国語資料を購入や寄贈によって充実するとともに、岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 [145にも掲載しています。]	新規受入冊数 蔵書冊数	112冊 / 7,695冊	989冊 / 10,537冊	277冊 / 10,846冊	159冊 / 10,974冊	25年度「世界のこどもの本の部屋」の資料として49冊新規購入した。多文化共生支援では、25年度にインドネシア語62冊、アラビア語20冊、英語と日本語の併記絵本15冊、多文化関連の日本語資料、英語で書かれたマンガ3冊、合わせて110冊の資料を購入した。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
109	資料の充実	図書の購入や市立図書館の団体貸出、リサイクル図書や寄贈図書を利用することによって絵本などの図書資料を充実させる。 [147、148をご参照ください。]	動く図書館 貸出冊数	16,407冊	18,480冊	18,191冊	18,103冊	<p>動く図書館による団体貸出、リサイクル図書、寄贈図書などにより、図書の充実をはかることができています。保育や訓練に使用したい本を前もって図書館に連絡して持ってきてもらうことも増えている。(しいの実学園)</p> <p>動く図書館では、各クラスから借りた本の希望も出してもらって1週間くらい前から予約のリストをFAXしている。大型絵本などなかなか購入できない本を借りることのできるような絵本の楽しみを提供できた。「スマイル」(スマイル事業:個別療育と保護者支援の事業)でも「はじまりの会」や「おわりの会」で絵本を1対1で読むときに活用し、「これ、次も読んで!」とリクエストする姿がみられる。またリサイクル図書を活用することで園バスやクラスに置く本も増え楽しめている。(あゆみ学園)</p> <p>図書の購入や市立図書館の団体貸出、リサイクル図書を利用して図書資料を充実させた。特に市立図書館からは大型絵本や布絵本など、学校ではなかなか購入できない本を借りることができ、教員が授業活用するとともに児童生徒も楽しむことができた。また、本校教育部においては生徒がリクエスト図書を利用して自分の好きな作者の本を読むことができ、読書の楽しさを感じていた。(刀根山支援学校)</p> <p>月に一度、動く図書館が巡回することで児童生徒は絵本だけでなく、CDや紙芝居を実際に自分で見て、ふれて、選択して借りることができることや、大型絵本など、なかなか購入できない本も借りることができ、教員が授業に取り入れ活用できていることは、たいへんありがたい。その反面、借りた絵本は返却しなければならないため、児童が気に入った絵本は教員が自費で購入している現状がある。(豊中支援学校)</p>	刀根山支援学校 しいの実学園 あゆみ学園 豊中支援学校
110	資料の充実	図書館などが児童発達支援センターや支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書に反映させる。 [144にも掲載しています。]	施設数	4か所	4か所	4か所	4か所	<p>選書に反映されるよう、園で活用したい図書名を図書館へ情報提供している。(しいの実)施設や学校で活用される資料のニーズについて、巡回時に情報交換している。それを動く図書館に積み込む資料に反映することで、施設や学校の読書環境の整備につとめている。施設の職員や保護者が入れ替わる際に、交流の場を持つことが課題。 ふきのとう文庫(北海道)の拡大写本情報・資料の提供、大阪府立図書館などのデジタイズ図書等の提供もした。(図書館) また、教育センター支援教育チームから視覚障害を有する児童生徒に対し、拡大教科書や点字教科書を支給し、学習の支援を行っている。</p>	児童発達支援センター 支援学校 読書振興課・図書館 教育センター

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
111	外国語資料の整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索や利用を促進できるように研究を行う。また市立図書館と、とよなか国際交流協会が資料の情報を共有し、分担収集をするなど、ともに蔵書の充実を進める。 [146をご参照ください。]	とよなか国際交流協会蔵書冊数	285冊	420冊	685冊	816冊	言語的マイノリティにおかれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や絵本と出会うために2007年度に「多文化子ども読書推進活動」を立ち上げ、外国語絵本を整備し、外国につながる子どもたちの参加する事業(多文化子ども保育にここに、子ども母語、学習支援サンプレイス)で絵本を使った活動を取り入れ、保護者には貸出サービスを紹介している。地域の子育て支援イベント「みんなあつまれわくわくランド」などでも外国語絵本を展示し、PRを図った。(とよなか国際交流協会)	読書振興課・図書館 とよなか国際交流協会
112	団体貸出のPR	関係機関・団体に向けて団体貸出の制度をPRし、冊数や期間など各施設の状況に応じて団体貸出を行う。 [12、43、63をご参照ください。]	図書館見学会実施回数／参加人数	2回／66名	2回／96名	2回／96名	1回／71名	動く図書館の巡回時や図書館見学時に、団体貸出を積極的に利用していただけるよう働きかけた。	読書振興課・図書館
113	資料の並べ方やサイン(本棚や館内の表示)の見直し	利用者が図書館職員に相談しやすいような雰囲気づくりに努める。資料を利用しやすいよう、サイン(本棚や館内の表示)や資料の並べ方を見直す。	実施状況	全9館	全9館	全9館	全9館	各図書館では「図書館へようこそ」ポスターの掲示を継続中。新刊カバーを入り口すぐの新刊コーナーに設置し、より目立つように見直した。また、小中学校の作品展示を行った際、推薦資料や関連図書をすぐ手に取れるように配置した。野畑図書館では、「外国語でかかれた本」コーナーを移転拡充し、利用しやすいように本棚の表示を作成、資料数も充実させた。	読書振興課・図書館
114	多言語の利用案内やサイン(本棚や館内の表示)の作成	子ども向けの利用案内やサイン(本棚や館内の表示)などを多言語表記にする。	実施状況	全9館	全9館	全9館	全9館	市立図書館では18年度に子ども読書活動推進連絡協議会ワーキンググループ会議で作成したアジア諸言語の簡易な目録リストをカウンターに置いている。(図書館) 国際交流センター内に多言語で図書情報を掲示した。(とよなか国際交流協会)	読書振興課・図書館 とよなか国際交流協会 市民団体(しょうないREK)
115	入院中の子どもの読書環境整備	市立豊中病院と市立図書館が連携し、患者用図書室などを充実させ、入院中の子どもの読書環境を整備する。	病院への団体貸出の冊数	21冊	12冊	25冊	41冊	例年通り、小児病棟の担当者の希望を聞いて購入した資料を追加で長期貸出した。	市立豊中病院 読書振興課・図書館

## 読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
24年度より追加	音点訳資料の整備	図書館と障害福祉センターひまわり、音訳・点訳ボランティアが連携し音訳・点訳図書の製作を行う。	子ども向け点訳受点数	—	—	44件	64件	図書館と障害福祉センターひまわり、音点訳ボランティアが年1回選定会議をし、子ども向けを含む音訳図書・点字図書の製作を行う。	読書振興課・図書館・ひまわり

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

### 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
116	ボランティア活動への支援	録音図書、点字図書や拡大写本など、障害のある子どもに有効なメディアを研究し、製作に携わるボランティアを育成・支援する。	講座の回数 参加人数	2回 / 16人	2回 / 28人	2回 / 20人	2回 / 17人	音訳ボランティアのフォローアップ講座を実施し、制作にかかわるボランティアを支援した。また、各館で、点訳に使用する資料を提供した。	○読書振興課・図書館 ひまわり
117	おはなしボランティアへの支援	障害のある子どもや入院中の子ども、外国人の子どもに向けておはなし会を行うボランティアに対して市立図書館が図書資料や情報などを提供する。	実施状況	実施	実施	実施	実施	読み聞かせに使用する絵本や紙芝居などの資料を提供した。	読書振興課・図書館

### 子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
118	市民向けの啓発事業の実施	市民に向けて、障害のある子どもに対して理解を求める取組みや啓発を行う。	参加人数	1回 / 16人	—	1回 / 199人	1回 / 36人	地域交流会において、障害のある子どもに向けての図書館サービスの実例をお伝えした。各館において、小学校3年生の図書館見学では、2学期に点字を習うようなので、その前の勉強として誘導音、点字案内板、点字ブロック、対面朗読室やCDの点字ラベルのことを伝え、市立図書館における障害者サービスの説明をあわせて行っている。	読書振興課・図書館 児童発達支援センター 支援学校
119	職員の研修	障害のある子どもや外国人の子どもを取り巻く状況など、多様な子どもの情報を共有できるよう教職員の研修を行う。	職員研修の参加人数	2回	5回	—	3回	あゆみ、しいの実の両園で、親子クラスについて、互いの保育の公開と勉強会を行い、それぞれの子どものおかれている状況、親子関係についてなどを学び合っている。前年度は実施できなかったが、今年度は実施できた。(しいの実・あゆみ学園)	児童発達支援センター 読書振興課・図書館
120	情報交流と研修	図書館や各施設で行う研修の情報を共有し、研修の機会を広げる。 [72をご参照ください。157にも掲載しています]	回数	1回	1回	4回	4回	学校図書館関連の研修や小学校区ごとの校区連絡会全体で年に一度実施している研修会「地域子育て・子育て支援ネットワーク研修」に図書館職員も参加し職員間で情報を共有した。	読書振興課・図書館

## (6) 市立図書館における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
121	「図書館へようこそ」の周知	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、「図書館へようこそ」(バリアフリー宣言)を周知するとともに、ハード、ソフトの両面について、図書館利用の障害を除去よう取り組む。 [105にも掲載しています。]	実施状況	全9館	全9館	全9館	全9館	項目No.105と同じ	読書振興課・図書館
122	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取組みを充実する。	レファレンス件数(成人含む)	73,601件	80,881件	87,867件	90,375件	各図書館では子どもが読みたい本、知りたいことを見つけられるようにするために、例えば、人気の作家やおすすめ作家の本や夏休み期間、話題になった児童書読み物や図鑑の展示を、図書館の専門的な分類にこだわらずに一箇所に集めることで、子どもが自分で探しやすいようにする。夏休みの宿題応援コーナーに、美術館・博物館やおでかけ案内のチラシと一緒に置いて、課題に取り組みやすいようにする。貸出可能な図鑑コーナーを設置し、調べ物をしやすい棚作りをする。館内OPACの横に書架案内図をたて置き、その上で持ち歩けるように配布用の書架案内図を設置するなどの様々な工夫をした。	読書振興課・図書館
123	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」→23年8月よりブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3か所の会場で行う。家庭でもすぐに楽しめるよう絵本を1冊配布するほか、絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等をコットンバッグに入れて配布する。また健診未受診者へ保健師が絵本もしくは引換券と「えほんはじめまして」の資料を配布する等、状況に応じて働きかけを行う。 [20にも掲載しています。]	ブックスタートパック手渡し率	94.4%	94.7%	97.0%	98.8%	項目No.20と同じ	読書振興課・図書館 保健予防課 子育て支援センター 豊子連
124	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	回数／参加人数	435回／8,417人	407回／7,992人	406回／6,557人	410回／9,636人	図書館全9館で乳幼児から参加できるおはなし会を実施している。最近4か月児健診直後のおはなし会の参加人数が多く「えほんはじめまして」でのPR等の効果によるものと考えられる。また、おはなし会終了後に集会室を開放している館もあり、参加者同士で語り合うなど、親子の交流の場としても機能している。館によっては保育士の協力を得てわらべうたやふれあい遊びのプログラムや地域子育て支援センターの保育士と共催で行う講座もあり、図書館のおはなし会に参加したことがなかった親子の来館のきっかけになっている。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
125	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	回数	930回	880回	906回	937回	定期的なおはなし会のほか、春・夏・冬休みや土日におはなし会を実施した館もあり、平日には参加できない子どもや、父親の参加も見られた。ボランティアとの共催で実施しているおはなし会も多い。ストーリーテリングをプログラムに入れたおはなし会を実施した館もあり、小学生や普段とは違う参加者の来館につながった。ストーリーテリングを楽しみにする常連参加者も多く、恒例行事として定着しつつある。保育所や幼稚園の子どもたちがお散歩で来館したときに合わせておはなし会を実施している館もある。赤ちゃんに比べて参加が少ない幼児以上対象のおはなし会チラシを、子どもにもよりわかり易い様に変え、小学校に送付したり、図書館見学の際に配布した館もあった。	〇読書振興課・図書館 おはなしボランティアグループ
126	「えほんはじめまして」フォーラム事業	経験豊かな講師による読み聞かせやわらべうた遊びを通じて親子のふれあいや読書の楽しさや大切さを感じてもらおう行事「えほんにたち」や、保健予防課と連携し司書による読み聞かせやわらべうた遊びと保健師による子育てに関する話を組み合わせた行事「すくすく赤ちゃんタイム」などをいづれも図書館で実施。 [妊婦教室についてはp.43「追加」をご参照ください。]	回数／参加人数	21回／563人	41回／992人	41回／999人	42回／1,258人	「すくすく赤ちゃんタイム」では、おはなし会とともに、保健師による育児相談や身体測定を行っており、好評である。会場によっては立ち見が出るほどだった。赤ちゃん向けの絵本を用意して、保護者や乳幼児が自由に手に取ってもらえるようにし、絵本について相談をうけることもあった。	読書振興課・図書館
127	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子が一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取組みを、関係機関・団体と連携して行う。 [6、99をご参照ください。]	校区／回数／参加人数	24校区／49回／1,910人	26校区／45回／1,669人	32校区／42回／1,420人	34校区／45回／1,775人	社会福祉協議会では各校区で実施している子育てサロンにおいて、図書館職員、おはなしボランティアグループ、子育てサロンスタッフ等によりおはなし会や絵本講座を実施し、講座やおはなし会の時に絵本の貸出を行っている。おもに近隣の図書館のこども室担当者が外向き読み聞かせなどを行い、地域の中で本と親しむ機会となっている。社協としては乳幼児向けの絵本の選び方やおはなし会の回数を増やしたい。(社会福祉協議会) 子育て支援センターや社会福祉協議会を通じ、多くの子育てサロン・サークルから出前講座の依頼があった。公民館と連携しての講座も実施した。また、講座とあわせて絵本の相談コーナーを設置した館もあった。これらの講座は図書館利用がなかった親子の来館のきっかけになっている。 (図書館)	〇読書振興課・図書館 社会福祉協議会 関係機関・団体
<p>・親子二人ではなかなかできない事が、みんなで楽しめてとても良かったです。本人も楽しんで嬉しかったです。</p> <p>・他のママや赤ちゃんと交流できて刺激になりました。</p> <p>・とても良かったです。こういう場がたくさんあったらと思います。同じ年齢のお母さんとお話できて良かったです。</p> <p>・広いホールだったので、のびのびできてよかったです。色々遊びながらできる読み聞かせが良かったです。どんな絵本を選んだらいいのかわからなかったで、参考になりました。</p> <p>(「すくすくおはなしタイム」参加者のアンケートより)</p>									

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
128	情報検索の講習会	子どもを対象に図書館ウェブサイトを利用して情報検索の講習会を行う。また必要に応じてパスファインダー(情報検索のリーフレット)を作成し、活用する。	回数	—	2回	3回	1回	熊野田小学校で図書館のウェブサイトを活用した資料検索のインターネット学習の授業があり、岡町図書館司書もオブザーバーとして参加し、資料検索の指導や、図書館のPRを行った。	読書振興課・図書館
129	「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や、子どもや子どもの本・読書に関わっている講師を招いての講演会や子ども向けのワークショップなどを行う「子どもと本のつどい」を豊子連と共催。[13をご参照ください。]	回数／参加人数	3回／448人	3回／464人	3回／227人	3回／308人	32回目となる「子どもと本のまつり」は、例年、各コーナー盛況で、25年度は子ども大人合わせて184人の参加があった。多言語のおはなし会はロシア語と英語でおはなしを楽しんだ。「子どもと本のつどい」パート1は「めざせ！昆虫観察の達人」のテーマでの箕面講演昆虫館の館長による講演会とワークショップ。パート2では絵本作家のたかいよしかずさんに来ていただき、「10代のきみたちへ～キャラクターデザインの仕事～」に来ていただき、ワークショップを開催した。	読書振興課・図書館 豊子連
<p>・お話だけの「おばけの話」に集中して聞いているわが子の姿。成長ぶりに驚きました。</p> <p>・「そらいのたね」のペープサートに感動です。パタパタとおうちがたおれる感じがよくわかりました。</p> <p>(「子どもと本のまつり」参加者アンケートより)</p>									
130	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、伝承あそびや昔語りの場を提供するとともに、子どもと本をつなぐ機会とする。	回数／参加人数	120回／2,805人	44回／1,297人	45回／1,056人	78回／1,780人	地域子ども教室は、毎月楽しみにしている親子も多く、図書館に来るきっかけとなっている。具体的な例としては、絵本作り、工作、おりがみ教室、たこあげ大会などを開催した。たこあげ大会では、地域ボランティアの大人から作り方を教えてもらい、子どもと図書館をつなぐだけでなく、地域の大人とも関わり合いを持つ機会となっている。また、各図書館での定例おはなし会においては夏休みやクリスマスには「ハンドベルコンサート」など季節にふさわしい催しを行っている。中学校の書道同好会のメンバーとともに、「すみで遊ぼう！マープルを楽しもう！」で、子どもたちにマープリングを体験してもらったり「ぬいぐるみのおとまり会」を開き、自分のぬいぐるみが図書館に一晚泊まるという行事を通して、図書館に親しみを持ってもらう催しを行った館、絵本のキャラクターのコスチュームを作成、それを着ることで絵本をより身近に感じてもらう催しを開催した館もある。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組みの内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
131	「おはなし会がやってきた！」	子ども文庫やおはなしグループに依頼し、日頃図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 [55をご参照ください。97にも掲載しています。]	参加回数 / 参加人数	3施設 / 303人	3施設 / 319人	3施設 / 342人	2施設 / 259人	項目No.97と同じ	読書振興課・図書館 子ども文庫 おはなしグループ
132	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、図書館の使い方の説明やおはなし会を行い絵本やおはなしの楽しさを伝える。 [57にも掲載しています。]	実施所(園)数	14園	12園	7園	5園	動く図書館では、年度末にきりん組を対象に、巡回先の保育所(園)でおはなし会を実施している。	○読書振興課・図書館 保育所(園) 幼稚園
133	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	実施校数	40校	42校	42校	42校	子どもたちが地域の図書館に来て、より図書館を身近に感じてもらうことで、来館につながる大切な機会となっているため、今後も継続して行う必要がある。	○読書振興課・図書館 小学校
134	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。	参加回数 / 参加人数	2回 / 41人	1回 / 10人	2回 / 54人	2回 / 17人	「私立幼稚園教諭・民間保育園(所)保育士向け絵本講座」を実施した。	読書振興課・図書館

### 子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
135	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。	の健診会場*で	94.4%	94.7%	97.0%	98.8%	赤ちゃん向け絵本の紹介冊子(ブックスタート事業「えほんはじめまして」で配布*)を一部改訂した。1歳から2歳くらいまでを対象とした絵本の紹介リーフレット「こんにちはえほん」は24年度より1歳6か月児健診で配布している。	読書振興課・図書館
136	ウェブサイトの充実	図書館の子ども向けウェブサイトをやさしいものにする。	こどもページのページ数	15,886件	14,076件	17,500件	20,083件	図書館の子ども向けウェブサイトのトップ画面と「ある日の図書館」のページを、定期的に更新している。いろいろな図書館の様子を紹介し、子どもたちにも身近に感じてもらえるページを目指している。子ども対象の行事案内のほか、行事終了後は写真やおはなし会のプログラムを載せるなど、日々更新を行っている。	読書振興課・図書館
137	家庭への情報提供	図書館のウェブサイトやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [5、106にも掲載しています。]	実施状況	随時	随時	随時	随時	項目No.5、106と同じ	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
138	新1年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [4にも掲載しています。]	配布枚数	—	3,391枚	3,670枚	3,840枚	項目No.4と同じ	読書振興課・図書館
138	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。また千里図書館が作成している「YA! BOOKS通信」など情報誌によるPRも実施する。	配布枚数	13,459部	5,600部	11,800部	8,500部	中学校へのPRは、夏休み前の学校図書館便りに図書館の利用案内を載せてもらうなど、学校図書館専任職員と連携しながら行っている。千里図書館では、情報誌「YA! BOOKS通信」を発行、市内中学・高校に配布し近隣商店等にも設置した。24年度からは図書館ウェブサイトでも公開している。岡町図書館では豊中高校で出前講座を実施し、授業の中でYA! BOOKS通信を紹介した。また、家庭科室に常設した図書コーナーに高校生向け情報誌を設置した。野畑図書館では、YAコーナーの新設に伴い案内カードを作成し、近隣の中学校の学校図書館で配布していただくとともに、地域のお祭りSネットフェスティバルでも配布した。近隣の小中学校の先生向けの図書館通信でもYAコーナーの告知を行った。	読書振興課・図書館

## 読書環境の整備

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
140	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとする。	児童書冊数	14,085冊	15,132冊	12,585冊	13,197冊	今年度は調べ学習パックの見直しのため、一部買い替えを行なった。	読書振興課・図書館
141	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	コーナー設置数	全9館	全9館	全9館	全9館	すべての図書館に「はじめてであう絵本」コーナーを設けている。コーナーでは絵本の他に地域の情報や子育て情報(サロン、サークルのマップなど)の提供を行い、赤ちゃんと楽しむ絵本の紹介冊子を設置し絵本選びの参考に活用していただいている。動く図書館や図書室では赤ちゃん向け絵本をまとめて置き、乳幼児の保護者が手に取りやすいようにしている。 4か月児健診講話にて、コーナーについてお知らせし、対象の乳幼児いる家庭の保護者にお伝えしている。	読書振興課・図書館
142	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。	実施状況	全9館	全9館	全9館	全9館	図書館では「はじめてであう絵本」コーナーや「くらしのコーナー」に子育て支援センターや社会福祉協議会の発行するリーフレットを置き、地域の子育て情報提供に努めた。こども室に子育てに関する本を置いている館や、成人書の育児書のコーナーにも、赤ちゃん向けの絵本リストを置く館もある。また授乳スペースを提供するなど、全館で子育て支援につとめている。	読書振興課・図書館
143	YA向けの資料の充実	YA(10代のヤングアダルト世代)向けの本のコーナーを設置する。	設置状況	3館	4館	5館	6館	千里・東豊中・高川・岡町・庄内図書館に加え、新たに野畑図書館にYAコーナーが設置された。千里図書館ではYA! BOOKSコーナーを展開し、YA世代の読書環境や情報環境整備に努めている。「YA! BOOKS通信」の発信や「高校情報ファイル」の設置により情報を収集・発信している。 高川図書館ではYA向けの雑誌を増やし、雑誌コーナーを新設した。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
144	資料の	図書館が児童発達支援センターや支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にします。 [110にも掲載していません。]	施設数	4か所	4か所	4か所	4か所	選書に反映されるよう、園で活用したい図書名を図書館へ情報提供している。(しいの実) 施設や学校で活用される資料のニーズについて、巡回時に情報交換している。それを動く図書館に積み込む資料に反映することで、施設や学校の読書環境の整備につとめている。施設の職員や保護者が入れ替わる際などに、交流の場を持つことが課題。 ふきのとう文庫(北海道)の拡大写本情報・資料の提供、大阪府立図書館などのデイジー図書等の提供もした。(図書館) また、教育センター支援教育チームから視覚障害を有する児童生徒に対し、拡大教科書や点字教科書を支給し、学習の支援を行っている。	○読書振興課・図書館 児童発達支援センター 支援学校 教育センター
145	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 [108にも掲載していません。]	購入冊数／蔵書冊数	112冊 ／ 7,695冊	989冊 ／ 10,537冊	277冊 ／ 10,846冊	159冊 ／ 10,974冊	項目No.108と同じ	読書振興課・図書館
146	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 [111をご参照ください]	新規受入冊数	112冊	989冊	277冊	159冊	受入の資料については、すべての言語の資料の書誌データを作成し登録した。文字入力ができない言語については、日本語で簡易書誌を作成している。	読書振興課・図書館
147	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出する。[109をご参照ください。]	巡回施設数／貸出冊数	10か所 ／ 16,407冊	10か所 ／ 18,480冊	10か所 ／ 18,191冊	9か所 ／ 18,103冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施。子どもが直接本を選ぶとともに、教職員の保育用資料や保護者向けの資料も貸出している。巡回が定着している。個別の要望については巡回時に聞き取りを行っている。	読書振興課・図書館
148	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。 [12、43、63、109をご参照ください。]	団体貸出冊数	50,760冊	53,896冊	49,753冊	56,235冊	子ども文庫や学校、放課後子どもクラブ、保育所(園)、幼稚園及び自主的な活動グループで10人以上の利用者を有する団体に資料の団体貸出を行っている。貸出期間や冊数は利用団体の種別ごとに定められており、図書館では選書の補助や、必要に応じて配本などを実施している。	読書振興課・図書館

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
149	放課後子どもクラブへの貸出しと配本おはなし会の実施	放課後子どもクラブへ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成24年3月現在41カ所を実施。またおはなしボランティアや図書館職員によるおはなし会を実施する。 [43をご参照ください。]	配本校数／貸出冊数	40校／12,672冊	41校／12,140冊	41校／13,236冊	41校／12,401冊	市内の小学校全41校に、絵本やよみもの、紙芝居などを100冊程度1セットにして貸出している。およそ4か月に1度入れ替えを行う。普段は児童や指導員がいない午前中に本の入れ替えを行っているが、長期休業中は児童が放課後子どもクラブに来ているので、子どもたちの様子を見たり、どんな本が好きか等を聞くなどして選書の参考にすることができた。今後も放課後子どもクラブチームと連携し、子どもたちが楽しい時間を過ごせるような選書を行っていく。おはなしボランティアポケットによる放課後子どもクラブでのおはなし会は、33校で実施されており子どもたちに好評である。おはなし会で読んだ本を当日置いて帰り、子どもたちが自由に見られるようにしているクラブもある。	○読書振興課・図書館 放課後子どもクラブチーム おはなしボランティアポケット 野畑おはなしの会
150	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。	学校への団体貸出冊数	41,250冊	38,850冊	43,680冊	43,175冊	学校図書館専任職員(以下、学校司書)から調べ学習の内容について情報提供があり、テーマにそった本を一緒に集めるなど、日常的に情報共有を行っている。夏休み前等の長期休暇前には、市立図書館の子ども向け行事の案内を学校図書館へ送付し、学校司書から直接子どもに案内することで、子どもの参加にもつながっている。各図書館では、担当エリアの小中学校の学校図書館便りを事務用としてファイルしており、市立図書館職員が近隣の学校図書館の近況を知ることができる。また、千里図書館エリアの学校図書館だよりには、毎月図書館からの記事(お知らせや紹介)を掲載している。学校図書館を紹介するポスターや、子どもたちの作品(おすすめ本POP・調べ学習の新聞等)を市立図書館で展示した。(学校図書館紹介3館・作品展4館)スタンプラリーや自由研究おたすけdayなど学校図書館と連携しての取組みを行った館もある。学校図書館と市立図書館司書の交流研修も実施した。	○読書振興課・図書館 教育推進室 小中学校 チーム 小・中学校
<p>*ブックプラネット事業:豊中市の「読書活動日本一」を目的に「教育行政方針」のひとつに位置づけられている事業。学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」機能向上をめざし、多様な読書活動の取組みを一層普及・定着させるとともに、言語活動の充実や授業改善など教育活動の充実を図る。ブックプラネット事業詳細設計にもとづき「読書活動支援システム」の開発と構築を進めるとともに、操作研修や物流便(資料運搬システム)の増便等、本格稼働に向けての体制作りを行った(85、86参照)。合わせて、「学校図書館支援ライブラリー」(庄内幸町図書館2階)を拠点としながら、公共図書館でセット組みをした各種資料「調べ学習バック」や「教員支援用資料」の学校図書館への貸出しを開始した。</p>									

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
151	地域館交流会	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。[87にも掲載しています。]	会合の回数	8回	1回	2回	2回	項目No.87と同じ	読書振興課・図書館教育推進室小中学校チーム
152	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。[1にも掲載しています]	配布枚数	1300枚	—	—	—	項目No.1と同じ	読書振興課・図書館

## 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
153	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。[14にも掲載しています。89をご参照ください。]	貸出冊数／講座の回数／参加人数	14,031冊／8回／306人	15,379冊／8回／193人	16,925冊／8回／285人	17,566冊／8回／301人	項目No.14と同じ	読書振興課・図書館豊子連・おはなしボランティアポケット
154	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生・大学生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。[15、68、88をご参照ください。]	回数	14回	11回	11回	11回	高川図書館では中学生・大学生ボランティアによる幼児・小学生向け紙芝居会を実施した。また、ボランティア登録者の募集を兼ねて、今年度も担当地域の学校司書と連携し、ボランティアと図書館職員が中学校に出向き、紙芝居の上演や紙芝居の読み聞かせのアドバイスをを行った。この時練習した紙芝居は、小中連携の一環として、夏休みに中学生が地域の小学校を訪問して読み聞かせを行い好評を得た。	○読書振興課・図書館おはなしボランティアポケット有志関係施設

## 子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組み内容	指標	22年度	23年度	24年度	平成25年度(2013年)実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
155	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	回数	1回	2回	8回	4回	ブックスタート巡回写真展を市立図書館(6館)と、男女共同参画推進センターすてっぷ・情報ライブラリーにおいて開催し、好評を得た。会場の様子を写真で紹介し、ブックスタート事業についてのパネルも展示した。学校図書館を紹介するパネル展・ポスター展も4館で実施した。	読書振興課・図書館
156	教職員への取組み	教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 [91をご参照ください。]	回数	1回	5回	10回	44回	夏休みに新任教員の研修を岡町・野畑・千里図書館で受け入れた。公共図書館と小学校中学校図書館と協同で教員向けの図書館だよりを作成し、配布したエリアもある。	○読書振興課・図書館 小・中学校
157	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 [72をご参照ください。120にも掲載しています]	回数	1回	1回	4回	4回	項目No.120と同じ	読書振興課・図書館 関係施設
158	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 [51をご参照ください。]	回数	19回	25回	23回	20回	大阪府子ども文庫連絡会をはじめとして、児童サービスに関わる必要な研修を実施し、館内の情報システムを活用して、職員間の共有に努めた。	読書振興課・図書館



動く図書館